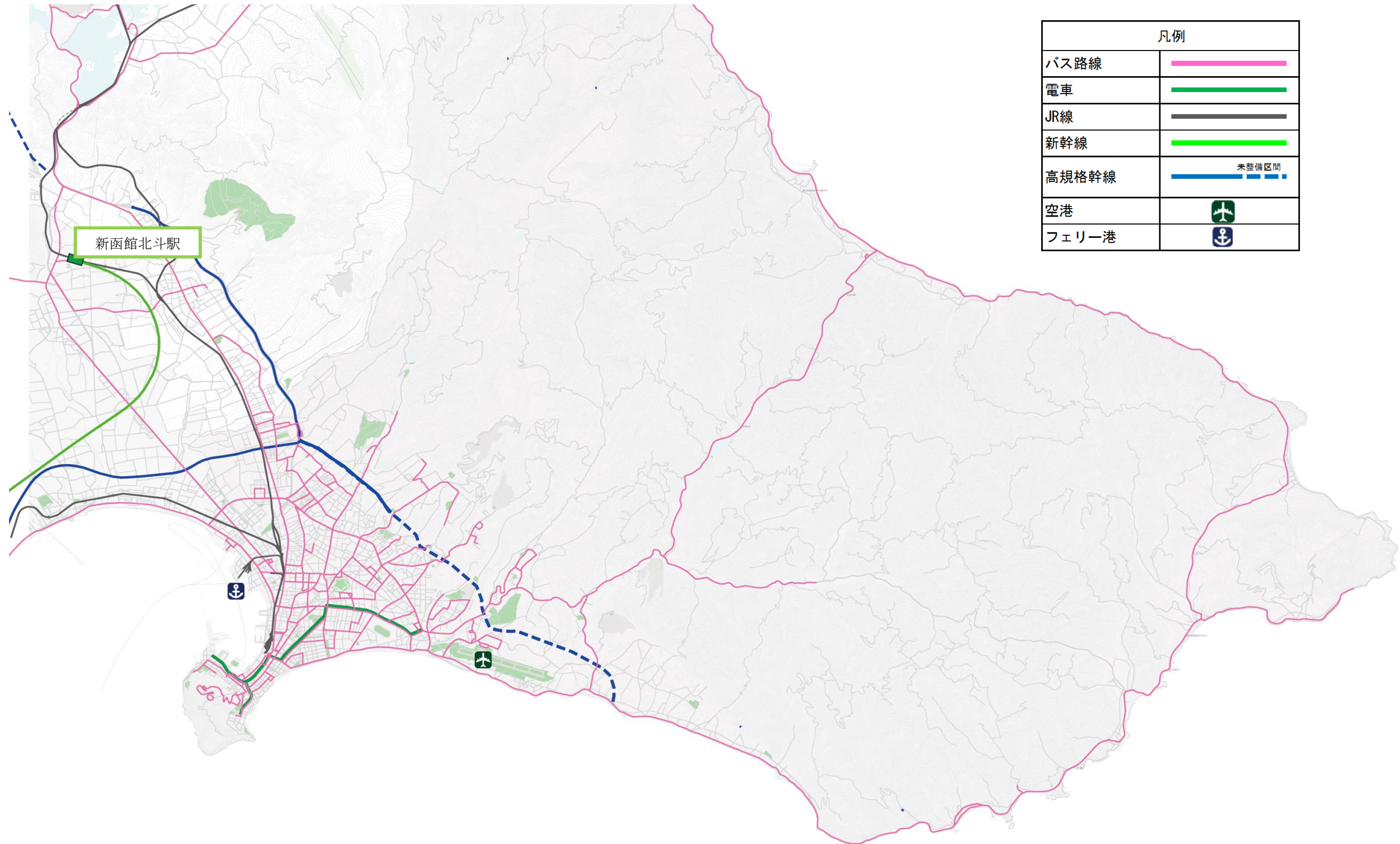


(2) 公共交通の現状等

ア 現況交通体系図

(7) 広域交通体系図

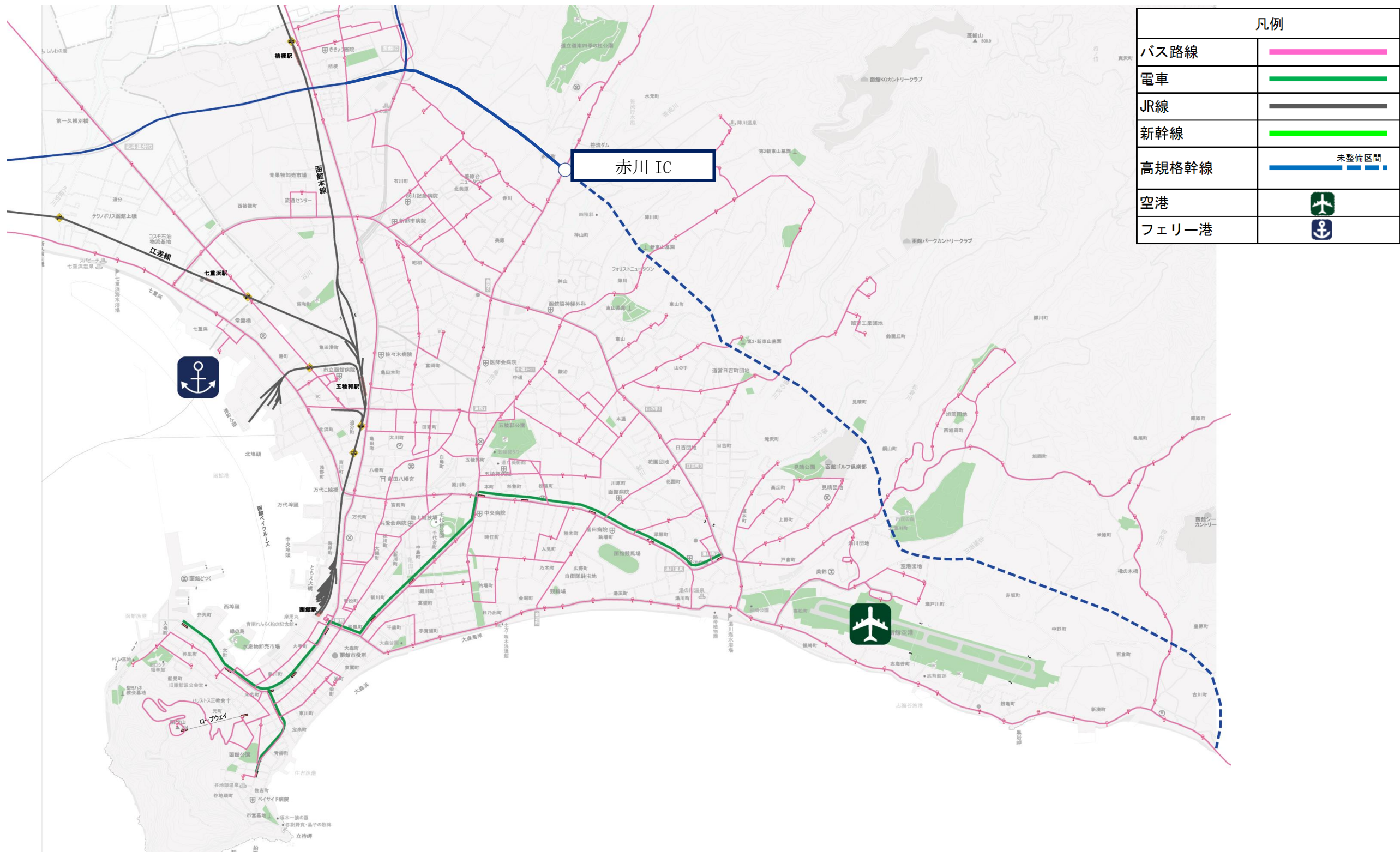
■ 広域交通については、郊外部に高速道路・フェリー・空港が配置されているほか、北海道新幹線が平成28年3月に開業する予定である。



資料：電子地図データ

(イ) 市内交通体系図

■ 市内においては、市電とJRを交通基幹軸とし、都市計画道路等の幹線道路には概ねバス路線が組み込まれており、市内主要地点への公共交通での移動を支えている。



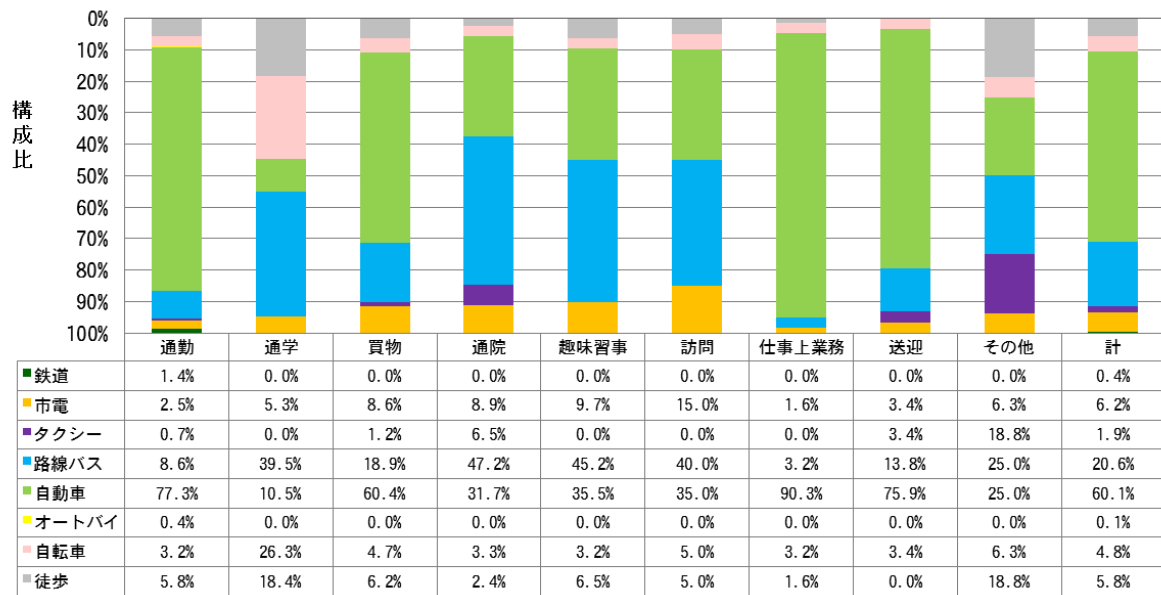
資料：電子地図データ

## イ 交通手段分担率

### (ア) 外出目的別の利用交通手段別割合

- 年少人口や老年人口の主目的となる通学・通院・趣味習事といった私用目的では、公共交通の利用割合が高い。
- 生産年齢人口の主目的となる通勤や仕事上業務では、自動車の割合が圧倒的に高い。

利用交通手段別割合(外出目的別)

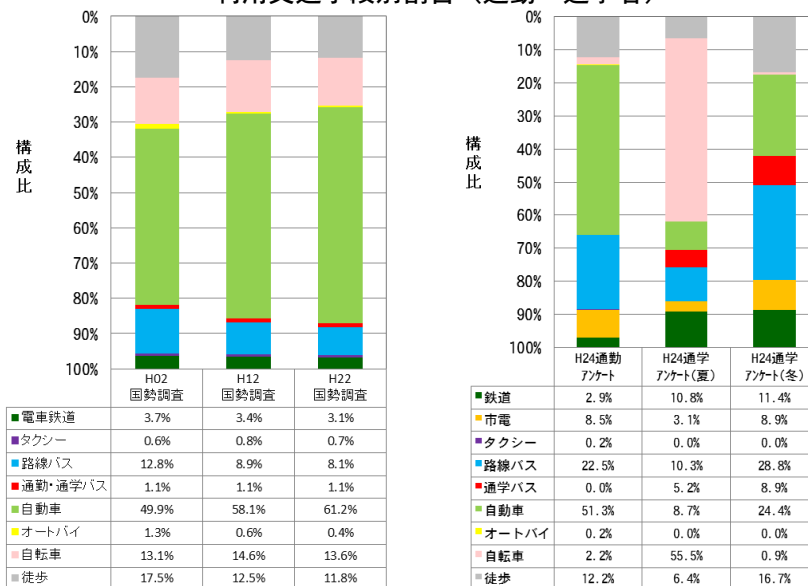


資料：函館市アンケート調査結果

(イ) 通勤・通学者の利用交通手段別割合

- 通勤・通学者の自動車の利用割合が、平成2年の調査時から大きく伸びている。
- 通学時においては、冬季に自転車から公共交通へ手段を変更する者が多くみられている。

利用交通手段別割合（通勤・通学者）

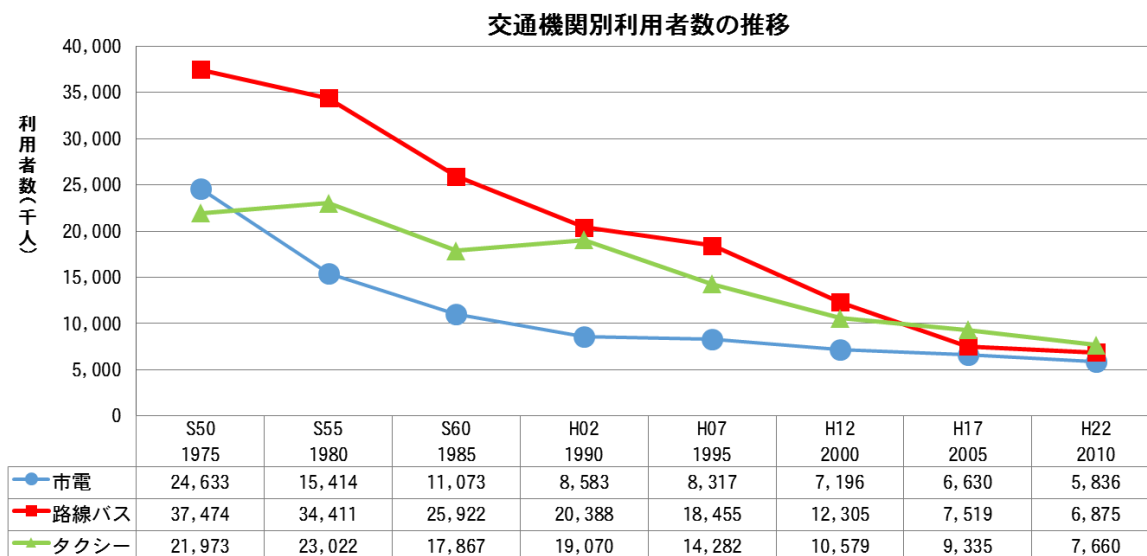


資料：国勢調査・函館市アンケート調査結果

## ウ 交通機関別利用者数の推移

### (ア) 市電・路線バス・タクシーの利用者数の推移

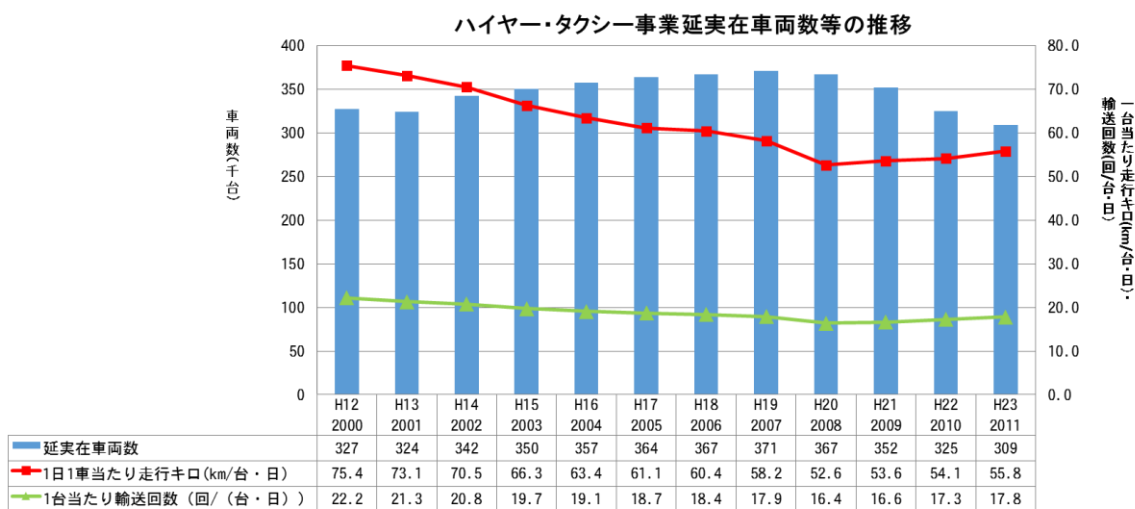
■ 公共交通利用者は，昭和 50 年以降，大幅に減少してきたが，平成 17 年以降は微減となっている。



資料：函館バス株式会社，函館市企業局交通部，函館地区ハイヤー協会

### (イ) ハイヤー・タクシー事業の推移

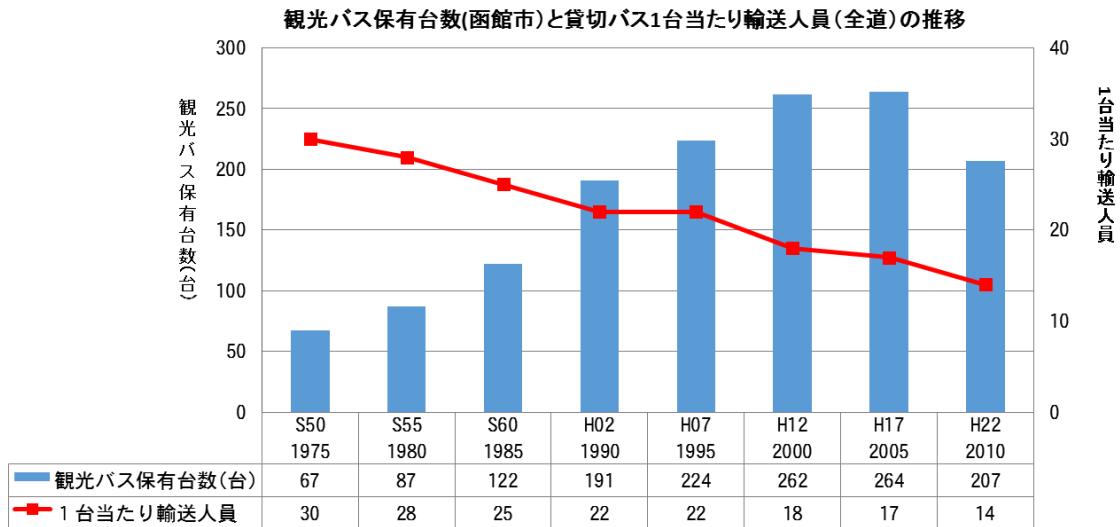
■ 平成 20 年以降，車両数の減少により，1 台当たり走行キロ・輸送回数が増加している。



資料：函館交通圏タクシー特定地域協議会資料

(ウ) 貸切（観光）バスの保有台数と一台当たり輸送人員

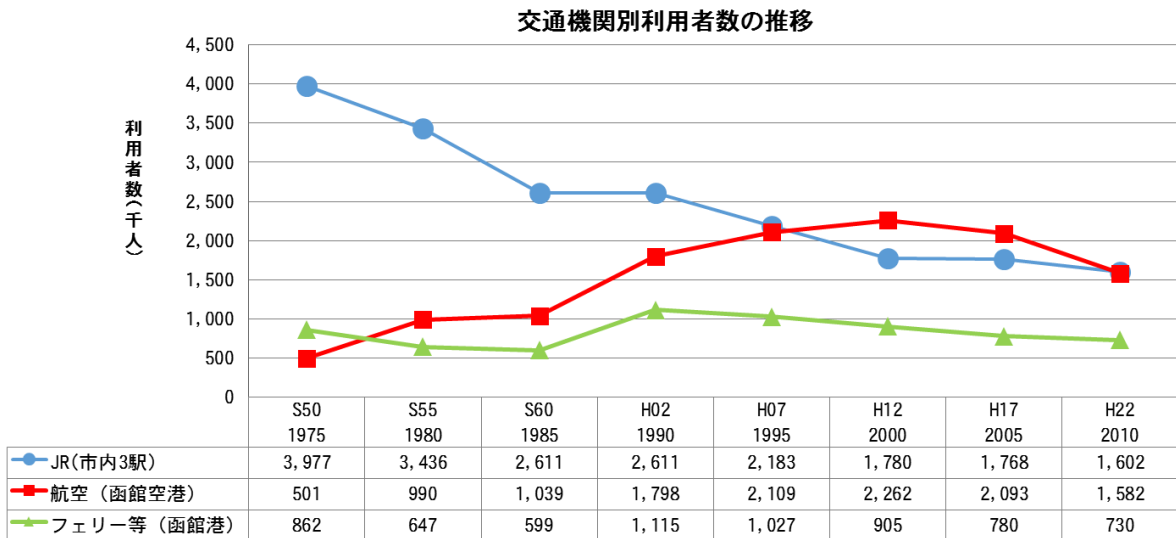
■ 函館市内の観光バス保有台数は、平成17年以降減少している。



資料：北海道運輸局函館運輸支局・数字でみる北海道の輸送

(イ) 広域公共交通機関の利用者数の推移

■ 昭和50年以降は、航空のみ増加傾向であったが、平成12年以降は、全ての機関で利用者数が減少している。



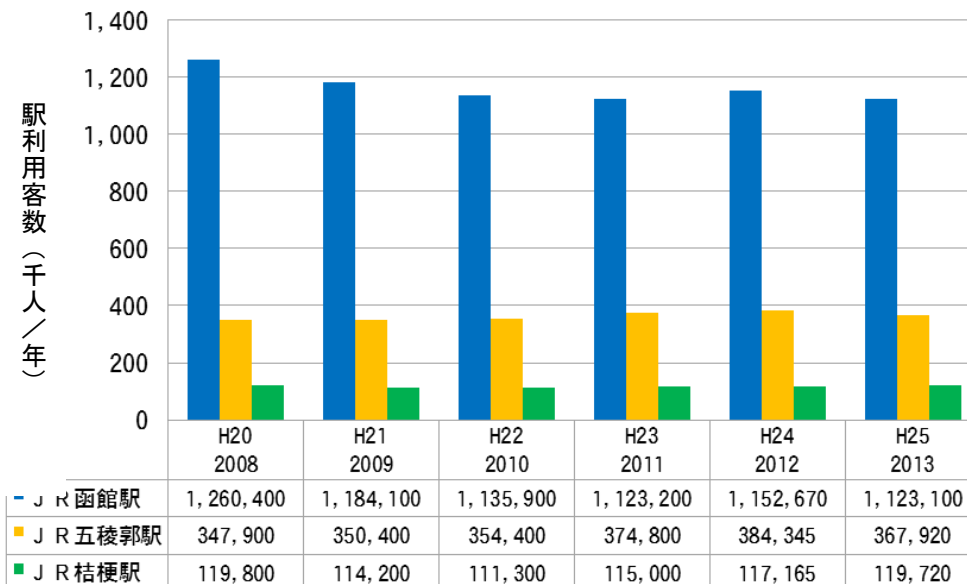
J R (市内3駅)：函館駅、五稜郭駅および桔梗駅

資料：J R北海道函館支社、国土交通省東京航空局函館空港事務所、  
函館市港湾空港部「函館港統計年報」

(オ) JR駅の利用状況

■ 市内にはJR駅が3駅あり、函館駅の利用が最も多く、年毎の利用状況はほぼ横ばいとなっている。

JR北海道駅別旅客運輸状況



資料：JR北海道函館支社

(カ) 北海道新幹線

■ 平成32年度の道南・道外間の鉄道交通量（北海道新幹線あり）は、北海道新幹線がない場合よりも年間約194万人増加すると見込まれており、そのうち新規誘発交通量は、年間約84万人と見込まれている。

道南発着の航空と鉄道の輸送人員推計結果（千人／年）

	現状交通量 (H12-H16平均)			将来交通量(H32)						開業効果	
	鉄道+航空	鉄道	航空	北海道新幹線なし			北海道新幹線あり			鉄道交通量 ④-②	新規誘発交通量 ③-①
				鉄道+航空	鉄道	航空	鉄道+航空	鉄道	航空		
				①	②		③	④			
道南-道北東	116.2	66.1	50.1	96.7	55.0	41.6	96.7	55.0	41.6	0.0	0.0
道南-道央	1,513.6	1,336.4	177.1	1,475.2	1,302.5	172.6	1,475.2	1,302.5	172.6	0.0	0.0
道南-道内	1,629.8	1,402.5	227.2	1,571.9	1,357.6	214.3	1,571.9	1,357.6	214.3	0.0	0.0
道南-道外	2,835.3	859.8	1,975.5	2,816.6	819.2	1,997.4	3,656.8	2,764.4	892.4	1,945.2	840.2
道南-全国	4,465.0	2,262.3	2,202.7	4,388.5	2,176.8	2,211.7	5,228.6	4,122.0	1,106.7	1,945.2	840.2

資料：平成18年度函館圏総合都市交通体系調査報告書

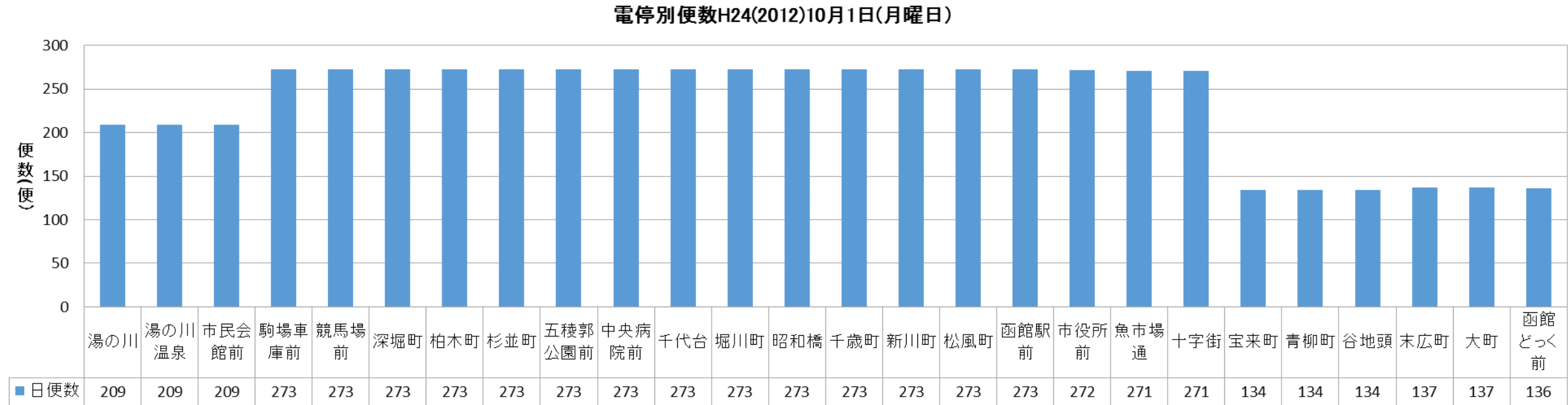




エ 市電路線の実態

(7) 電停別便数

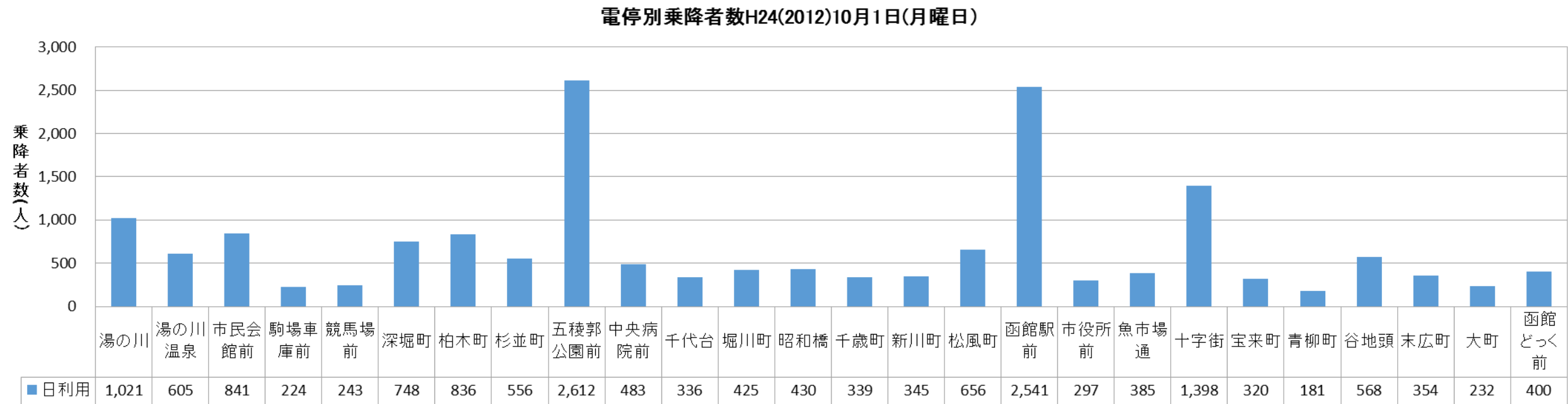
■ 駒場車庫前から十字街までの間で 250 便以上が運行している。十字街から西側の区間は 2 路線に分岐しているため、他の電停と比較して半減している。



資料：函館市企業局交通部

(イ) 電停別乗降客数

■ 五稜郭公園前と函館駅前では 2,500 人以上が乗降しており、湯の川と十字街においても 1,000 人を超えている。



※整理券利用者のみ  
 ※乗車電停データ等不明データは除いている  
 資料：函館市企業局交通部



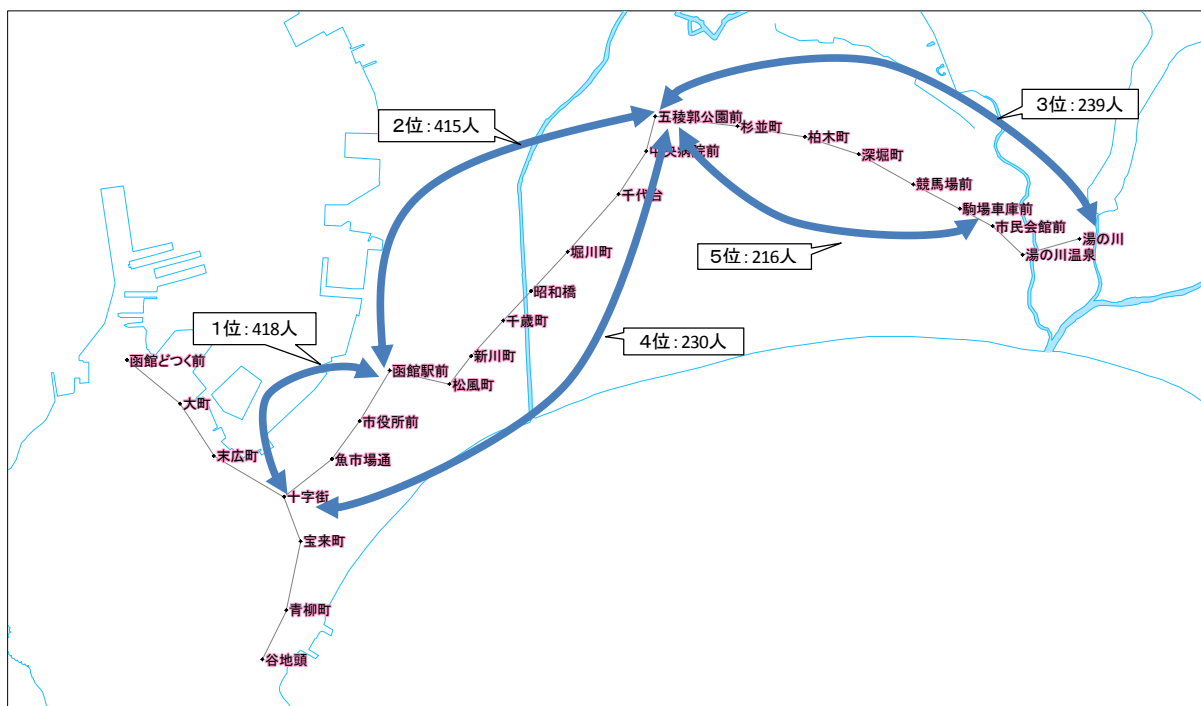
(ウ) 電停間利用者数

a 電停間利用者数が1～10位の区間(H24年10月1日月曜日)

■ 利用者数が最も多い電停間は函館駅前～十字街間、次いで五稜郭駅前～函館駅前間となっており、利用者が1日400人を超えている。

順位	電停間	利用者 (人/日)
1	函館駅前～十字街	418
2	五稜郭公園前～函館駅前	415
3	湯の川～五稜郭公園前	239
4	五稜郭公園前～十字街	230
5	市民会館前～五稜郭公園前	216
6	深堀町～五稜郭公園前	211
7	湯の川温泉～五稜郭公園前	203
8	函館駅前～末広町	176
9	柏木町～五稜郭公園前	173
10	函館駅前～谷地頭	163

※TOP5のみ図化



※乗車電停データ等不明データは除いている

資料：函館市企業局交通部

b 電停間利用者数 (H24年10月1日月曜日)

■ 五稜郭公園前電停を乗降地とする利用者が多い。

単位:人/日

降車電停 乗車電停	湯の川	湯の川温泉	市民会館前	駒場車庫前	競馬場前	深堀町	柏木町	杉並町	五稜郭公園前	中央病院前	千代台	堀川町	昭和橋	千歳町	新川町	松風町	函館駅前	市役所前	魚市場通	十字街	宝来町	青柳町	谷地頭	末広町	大町	函館どつく前	計
湯の川	0	8	38	4	6	30	32	31	124	23	12	10	16	16	14	21	56	7	12	24	4	2	9	2	3	7	511
湯の川温泉	4	0	1	2	6	13	17	10	92	9	6	3	5	6	2	8	37	4	2	25	3	2	5	4	1	2	269
市民会館前	40	7	0	0	7	46	28	26	94	15	10	14	11	8	8	18	21	3	9	22	3	1	3	7	0	3	404
駒場車庫前	8	3	1	0	0	6	18	8	19	9	3	2	6	1	12	4	11	2	2	3	0	0	2	1	2	4	127
競馬場前	11	4	3	3	0	1	5	10	26	7	2	6	5	4	9	4	15	3	2	8	0	0	1	2	0	2	133
深堀町	26	18	27	6	0	0	2	13	110	15	7	5	12	7	9	17	29	10	4	22	3	5	7	2	3	5	364
柏木町	32	15	55	15	3	3	0	4	77	10	11	13	10	5	20	24	64	9	11	15	1	4	4	4	7	7	423
杉並町	35	10	23	10	5	15	8	0	24	4	6	7	8	1	8	12	41	8	1	22	2	2	2	2	4	2	262
五稜郭公園前	115	111	122	22	26	101	96	28	0	1	19	36	37	28	25	58	187	14	38	107	29	13	33	19	10	25	1300
中央病院前	21	6	15	4	5	7	5	4	0	0	0	9	6	3	8	25	33	7	3	11	3	3	4	3	6	3	194
千代台	11	6	13	0	3	7	13	6	13	1	0	0	1	2	8	14	38	6	1	13	1	3	6	2	3	2	173
堀川町	9	8	12	4	5	5	16	11	27	12	2	0	0	5	9	24	31	3	7	8	2	0	7	7	1	5	220
昭和橋	21	6	16	2	2	12	9	8	41	9	2	1	0	0	4	7	23	6	5	26	3	5	10	3	2	4	227
千歳町	10	7	7	0	3	14	14	4	23	12	5	4	0	0	0	3	18	4	5	15	3	2	9	1	1	8	172
新川町	6	1	9	4	3	8	8	8	22	9	3	12	4	1	0	1	3	5	3	9	1	1	8	6	6	3	144
松風町	23	9	13	2	8	15	28	17	83	29	13	14	15	9	1	0	6	0	8	18	4	3	8	4	2	9	341
函館駅前	62	64	29	6	15	36	48	50	228	58	24	24	27	23	23	4	0	4	39	198	63	21	62	84	38	70	1300
市役所前	4	7	5	3	2	1	10	6	22	5	4	1	5	3	6	3	1	0	1	32	3	1	9	4	8	5	151
魚市場通	9	7	6	1	1	6	7	3	39	6	7	9	1	2	1	8	46	0	0	5	0	0	14	4	3	6	191
十字街	26	25	19	5	2	33	17	21	123	22	6	12	7	15	9	25	220	13	7	0	5	9	34	9	19	15	698
宝来町	4	0	3	0	3	6	3	2	32	10	4	1	5	7	5	3	52	4	1	7	0	2	18	0	0	0	172
青柳町	5	2	0	0	0	2	1	2	10	4	2	2	7	6	3	2	33	3	1	10	2	0	2	0	0	0	99
谷地頭	9	3	5	1	2	5	7	6	32	6	4	7	7	4	5	11	101	16	16	46	13	3	1	0	0	0	310
末広町	7	2	8	1	2	6	7	3	12	4	2	8	3	2	2	1	92	5	6	5	0	0	0	0	1	1	180
大町	3	2	2	0	1	3	6	7	20	4	6	0	2	2	3	4	21	5	5	15	0	0	0	0	0	1	112
函館どつく前	9	5	5	2	0	3	8	6	19	5	3	5	3	7	7	14	62	5	5	34	0	0	0	4	0	0	211
計	510	336	437	97	110	384	413	294	1312	289	163	205	203	167	201	315	1241	146	194	700	148	82	258	174	120	189	8688

※乗車電停データ等不明データは除く

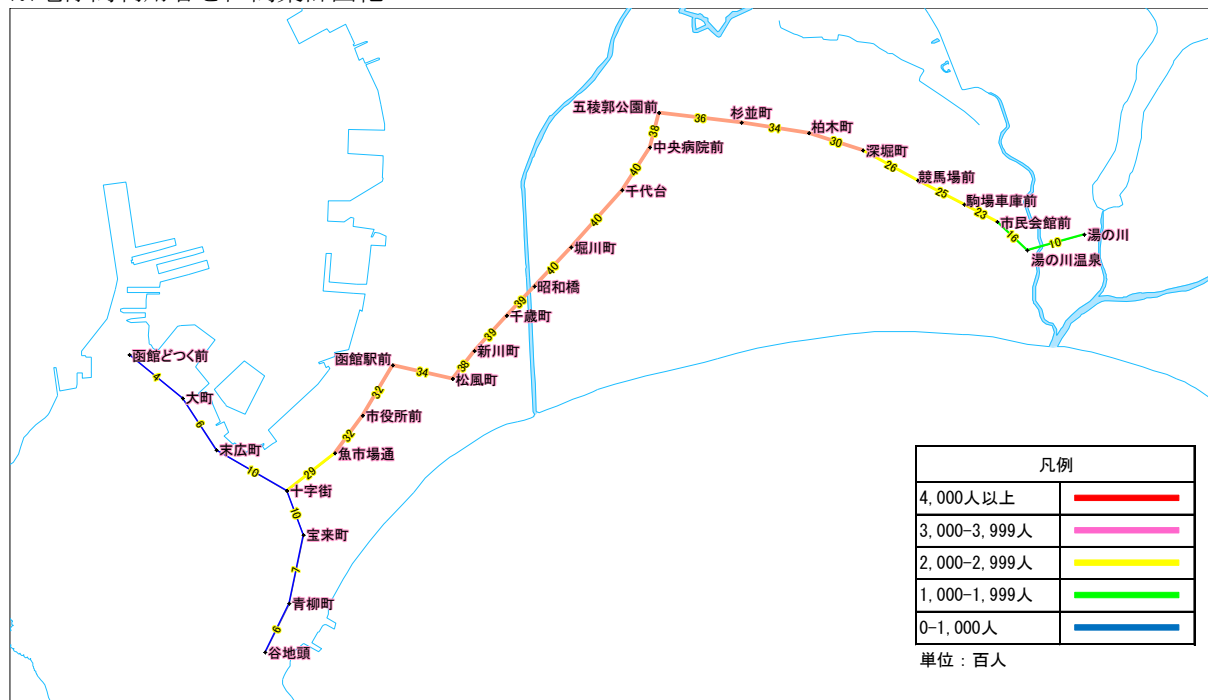
資料：函館市企業局交通部

c 電停区間利用者数順位 (H24 年 10 月 1 日月曜日)

■ 電停区間ごとの利用者数は、五稜郭公園前と函館駅前の間の区間が多く、1日3,000人を超えている。

順位	電停間	利用者 (人/日)
1	堀川町～千代台	3,989
2	昭和橋～深川町	3,982
3	千代台～中央病院前	3,951
4	千歳町～昭和橋	3,920
5	新川町～千歳町	3,881
6	中央病院前～五稜郭公園前	3,788
7	松風町～新川町	3,758
8	五稜郭公園前～杉並町	3,550
9	杉並町～柏木町	3,410
10	函館駅前～松風町	3,376
11	市役所前～函館駅前	3,249
12	魚市場通～市役所前	3,180
13	柏木町～深堀町	3,024
14	十字街～魚市場通	2,941
15	深堀町～競馬場前	2,622
16	競馬場前～駒場車庫前	2,459
17	駒場車庫前～市民会館前	2,271
18	市民会館前～湯の川温泉	1,602
19	湯の川温泉～湯の川	1,021
20	宝来町～十字街	987
21	末広町～十字街	972
22	青柳町～宝来町	737
23	大町～末広町	630
24	谷地頭～青柳町	566
25	函館どっく前～大町	400

※電停間利用者を区間集計図化



※乗車電停データ等不明データは除く

資料：函館市企業局交通部

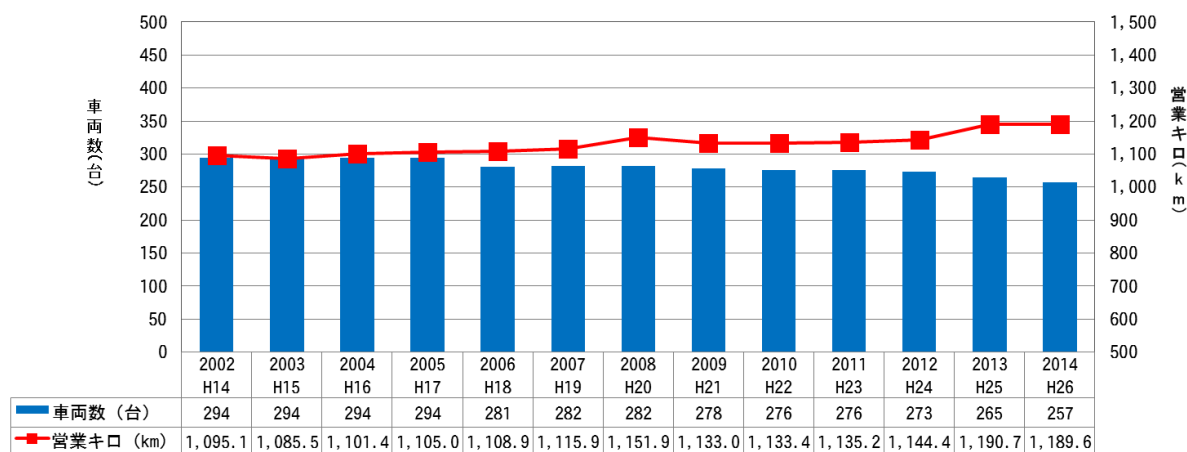
## オ バス輸送・営業実績の推移

### (ア) 営業キロ・車両数等営業実績の推移

■ 函館バス営業全区間での車両数は、平成 17 年以降減少しているが、営業キロについては年々増加している。

	2002 H14	2003 H15	2004 H16	2005 H17	2006 H18	2007 H19	2008 H20	2009 H21	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26
営業キロ(km)	1,095.1	1,085.5	1,101.4	1,105.0	1,108.9	1,115.9	1,151.9	1,133.0	1,133.4	1,135.2	1,144.4	1,190.7	1,189.6
車両数(台)	294	294	294	294	281	282	282	278	276	276	273	265	257
走行キロ(km)	12,332,640	12,487,951	12,511,003	12,727,804	12,503,182	12,729,043	12,752,573	12,351,752	12,044,728	12,103,935	11,882,715	11,434,316	11,199,069
乗合	11,139,973	11,283,125	11,274,007	11,455,464	11,560,314	11,597,013	11,524,984	11,177,990	10,859,999	10,759,719	10,603,664	10,240,213	10,111,561
貸切	1,192,667	1,204,826	1,236,996	1,272,340	942,868	1,132,030	1,227,589	1,173,762	1,184,729	1,344,216	1,279,051	1,194,103	1,087,508
乗車人員(人)	11,101,209	10,565,496	10,005,132	9,901,591	9,568,927	9,574,239	9,413,941	9,047,903	8,929,407	8,857,640	8,927,260	8,859,944	8,298,246
乗合	10,746,129	10,172,388	9,620,075	9,519,387	9,188,383	9,117,371	8,922,607	8,575,409	8,457,853	8,348,050	8,460,417	8,410,784	7,853,882
貸切	355,080	393,108	385,057	382,204	380,544	456,868	491,334	472,494	471,554	509,590	466,843	449,160	444,364

函館バス株式会社営業実績の推移(函館バス営業全区間)

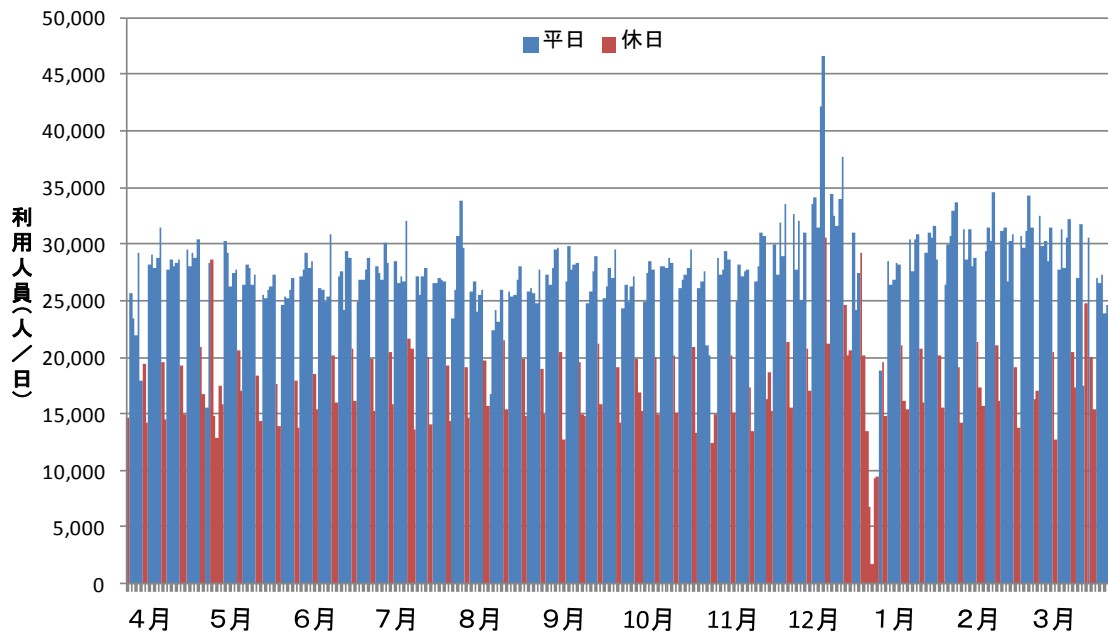


※データは函館バス営業全区間(函館市以外含む)

資料：函館バス株式会社

(イ) 利用人員の日変動 (H24. 4. 1～H25. 3. 31)

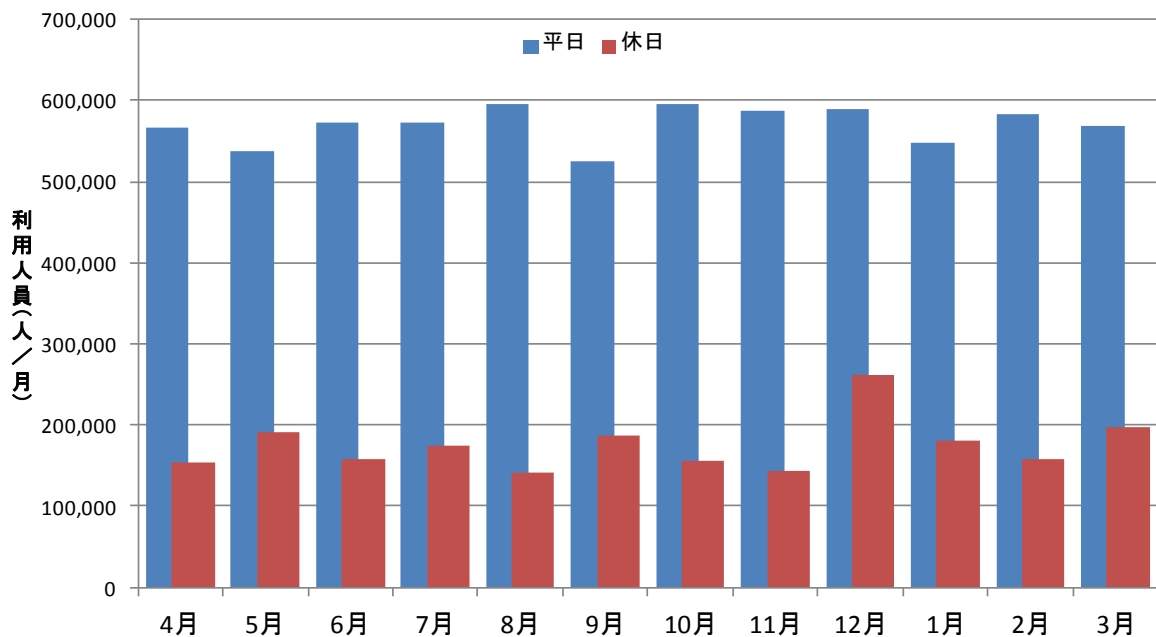
■ 日別の変動をみると、休日に利用者がほぼ半減している。



※データは函館バス営業全区間（函館市以外含む）  
資料：函館バス株式会社

(ウ) 利用人員の月変動 (H24. 4. 1～H25. 3. 31)

■ 月別の集計では、8月の平日の利用が多くなっている。



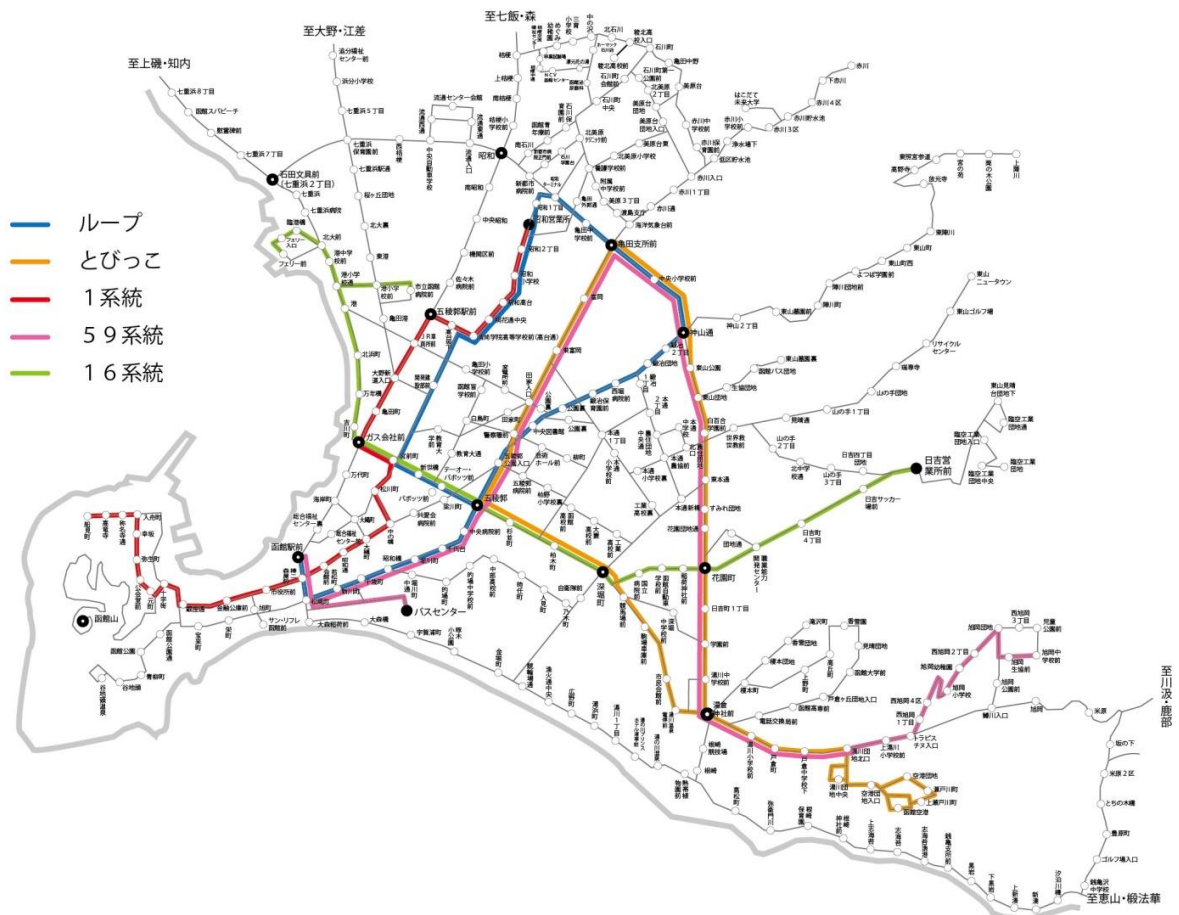
※データは函館バス営業全区間（函館市以外含む）  
資料：函館バス株式会社

## カ バス路線網の実態

### (ア) 系統別利用者数・便数

#### a 利用者が1～5位の系統路線 (H24. 4. 1～H25. 3. 31)

■ 五稜郭・函館駅前・美原地区・湯川地区を経由する系統での利用が多くなっている。



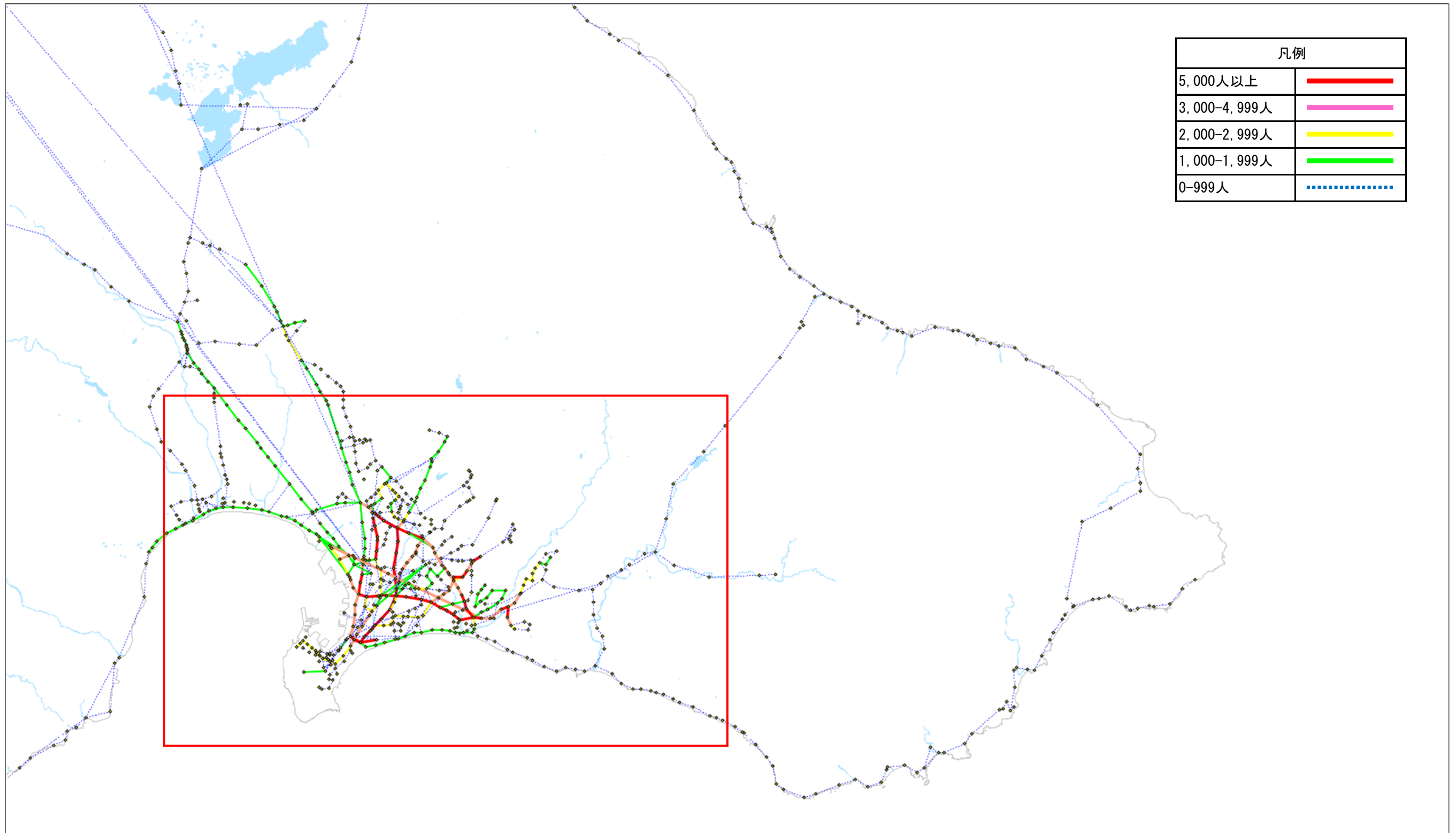
順位	系統	年間輸送人員
1	ループ	638,707
2	とびっこ	508,429
3	1系統	432,164
4	59系統	348,463
5	16系統	343,016
6	5系統	264,574
7	89系統	260,233
8	14系統	226,248
9	6系統	214,898
10	81系統	214,398

資料：函館バス株式会社

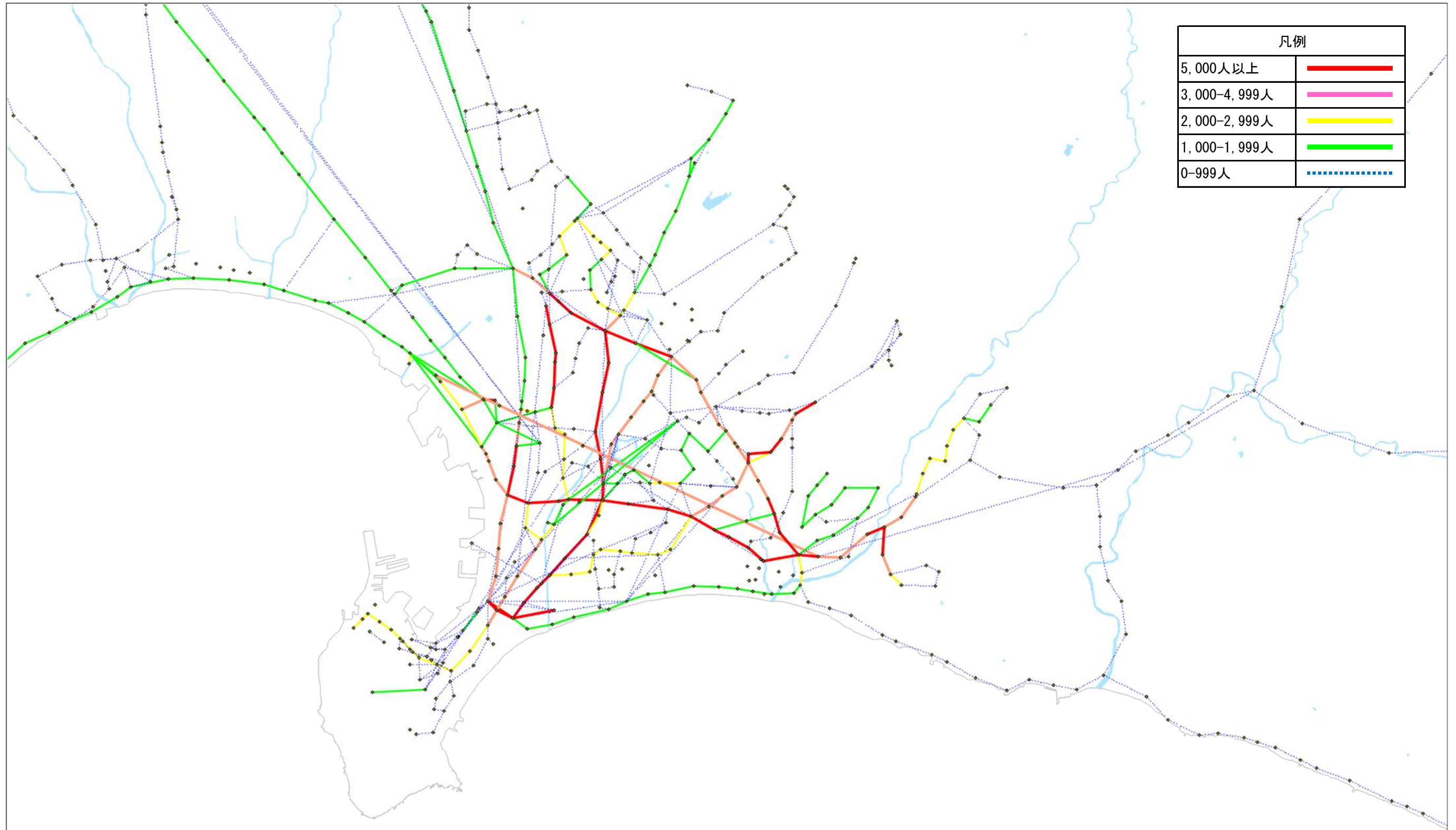


b バス系統別利用者数 (H24年10月の日平均)

■ 五稜郭から函館駅前、美原地区、昭和営業所、日吉営業所、湯川間の系統利用者が多く、1日あたり5,000人を超えている。



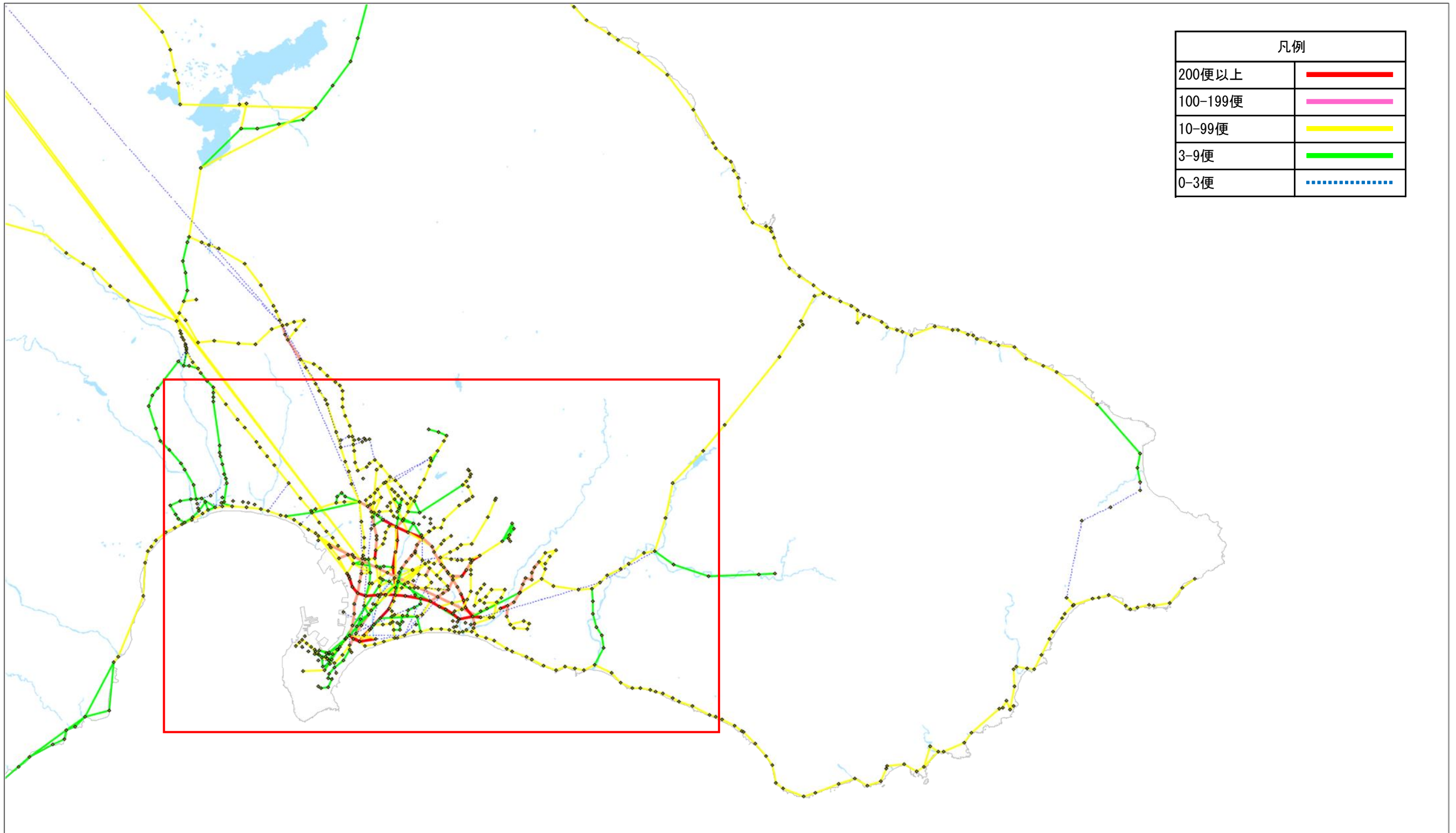
資料：函館バス株式会社



資料：函館バス株式会社

c 路線バス便数 (H24年10月の日平均)

■ 五稜郭から函館駅前、美原地区、昭和営業所、湯川間の系統利用者が多い系統の便数が多く、1日あたり200便を超えている。



資料：函館バス株式会社



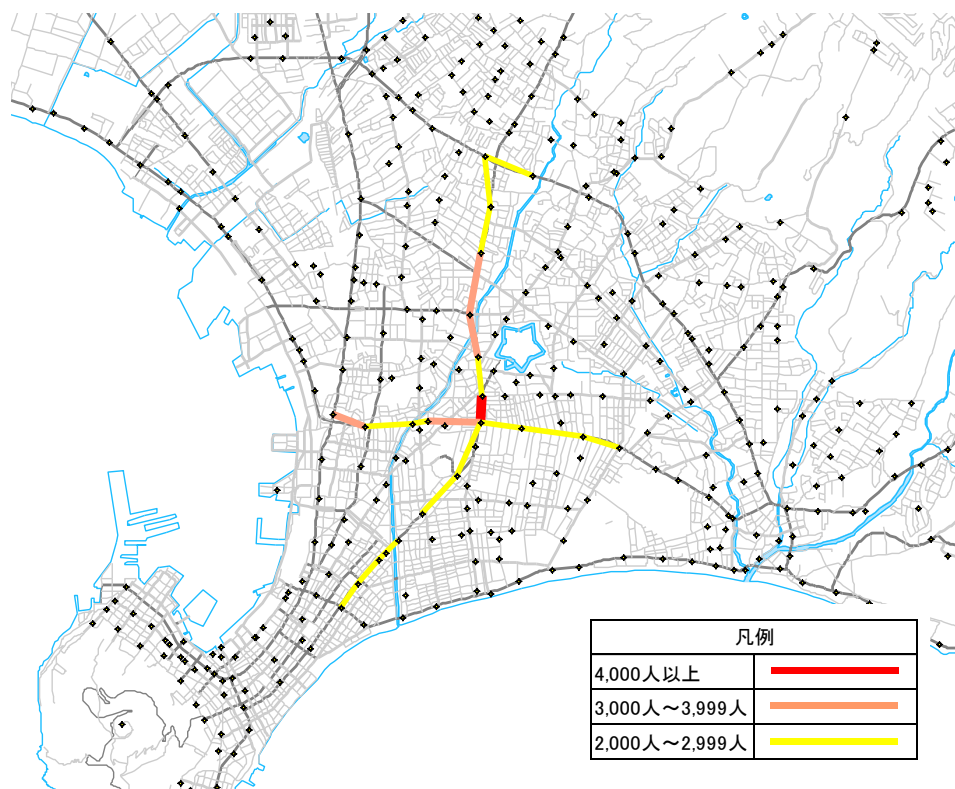
資料：函館バス株式会社

(イ) バス停間利用者数（平成 24 年 10 月の日平均）

a バス停間利用者数が 1～20 位の区間

■ 五稜郭から美原地区・ガス会社前・競馬場前バス停間のバス停区間利用者が多く、1日あたり2,000人を超えている。

順位	バス停間	利用者 (人/日)
1	五稜郭公園入口～五稜郭	4,967
2	五稜郭～テーオーパボッツ前	3,883
3	東富岡～田家入口	3,070
4	ガス会社前～宮前町	3,015
5	田家入口～警察署前	3,003
6	富岡～東富岡	2,958
7	警察署前～五稜郭公園入口	2,906
8	亀田支所前～富岡	2,870
9	昭和橋・赤十字病～千歳町	2,848
10	五稜郭～杉並町	2,651
11	柏木町～深堀町・たき整形	2,648
12	杉並町～柏木町	2,637
13	千歳町～新川町	2,625
14	亀田支所前～中央小学校前	2,617
15	千代台～五稜郭	2,545
16	堀川町～千代台	2,458
17	新川町～松風町	2,436
18	新世橋～テーオーパボッツ前	2,405
19	宮前町～新世橋	2,371
20	港小学校前～市立函館病院	2,345

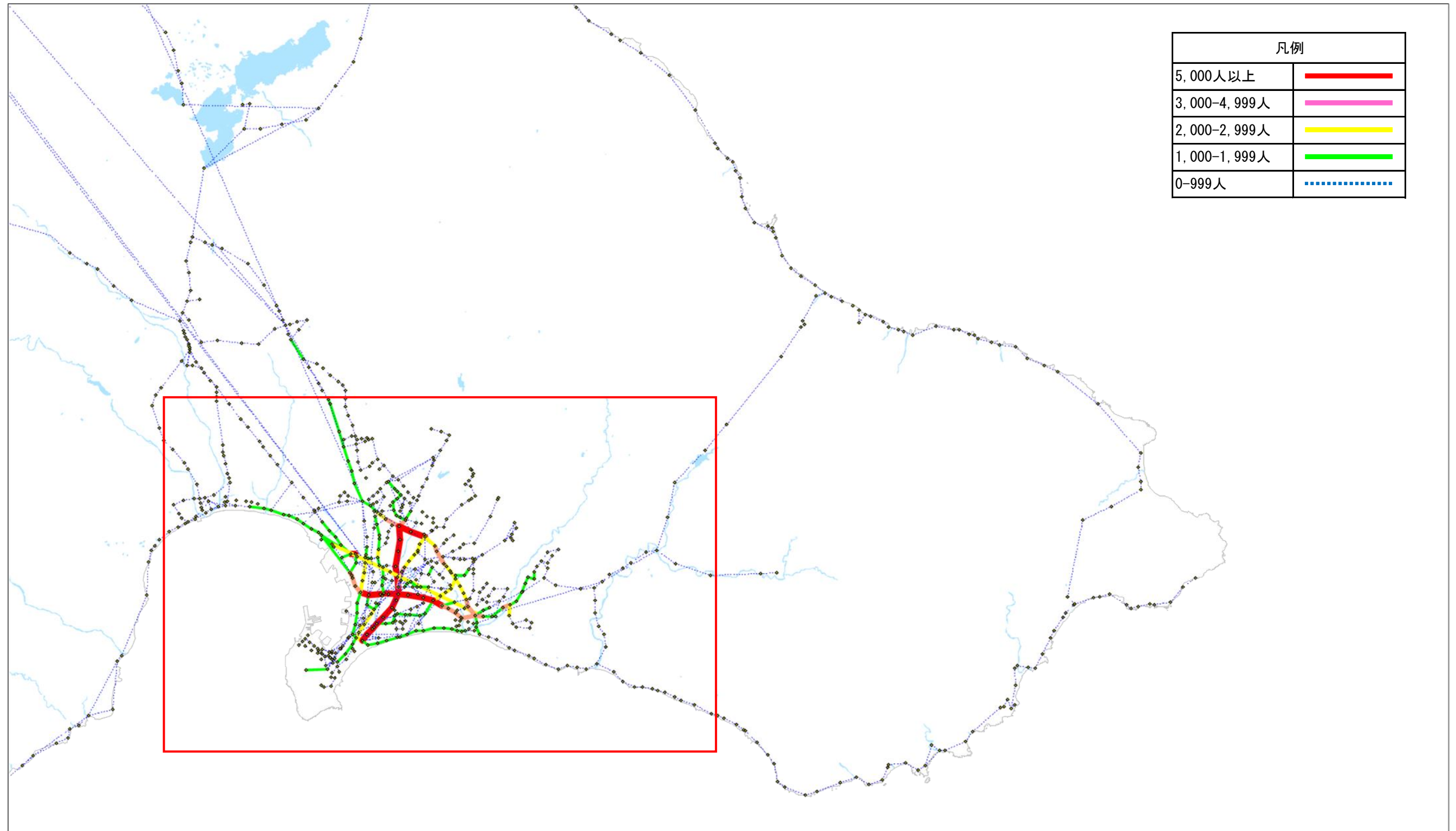


資料：函館バス株式会社

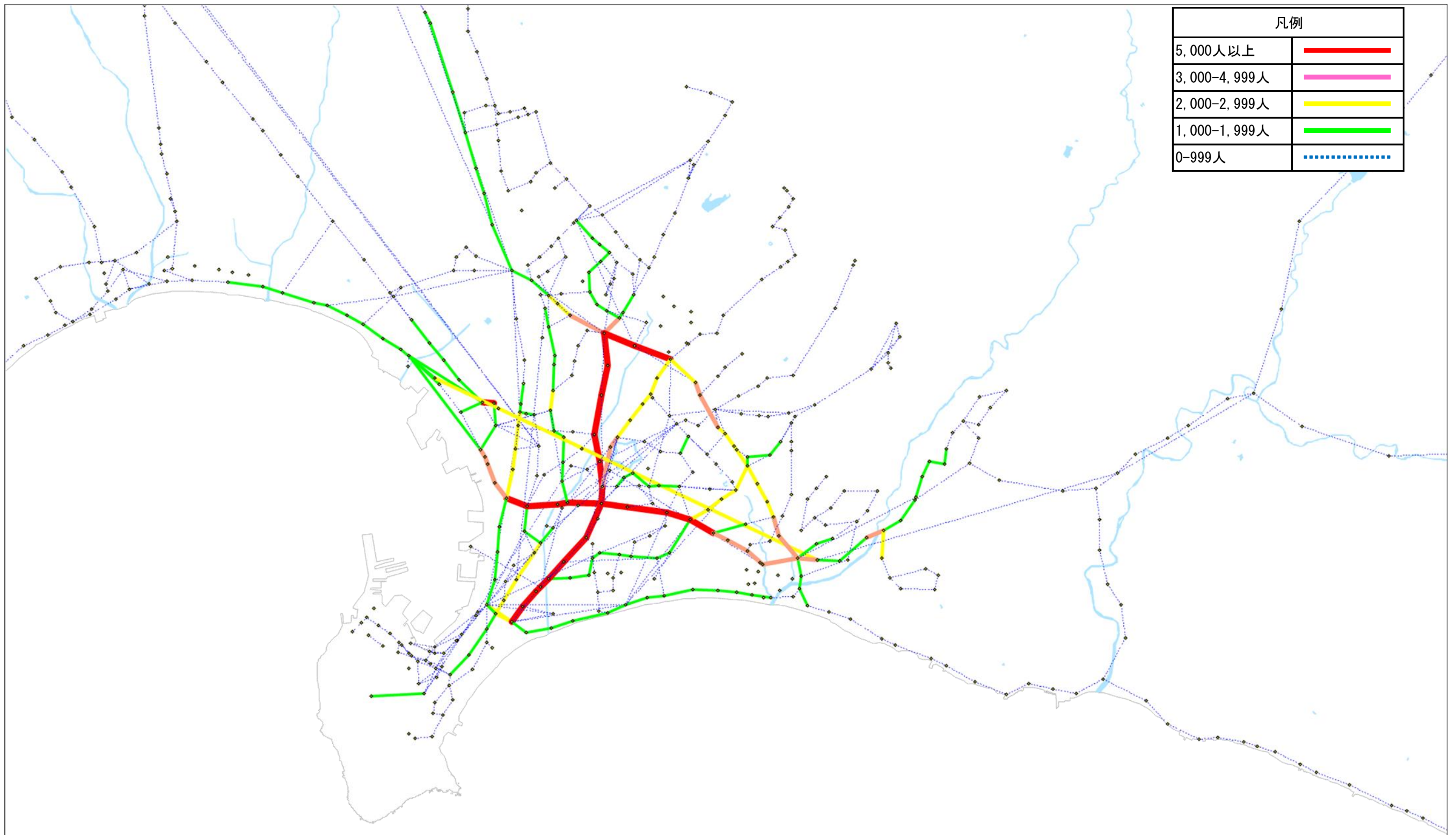


b バス停区間別利用者数 (H24年10月の日平均)

■ 五稜郭からガス会社、美原地区、函館駅前、競馬場間の各区间利用者が多く、1日あたり5,000人を超えている。



資料：函館バス株式会社



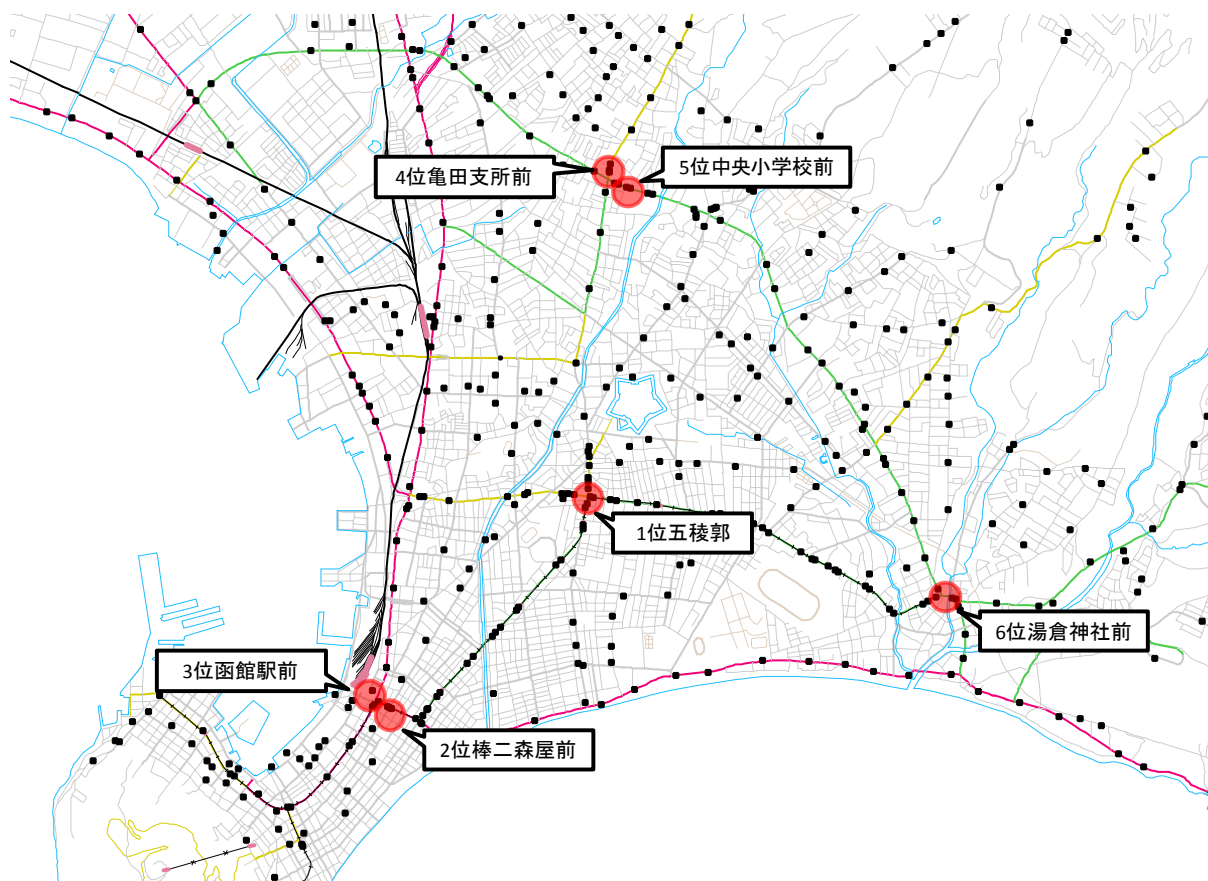
資料：函館バス株式会社



(ウ) バス停留所毎利用者数

- a 利用者数が1日当たり500人以上のバス停留所  
(H24年10月の日平均)

■ 五稜郭が最も多く、次いで函館駅前地区（棒二森屋前・函館駅前）、美原地区（亀田支所前・中央小学校前）、湯倉神社前での利用が多くなっており、これらは乗降拠点となっている。



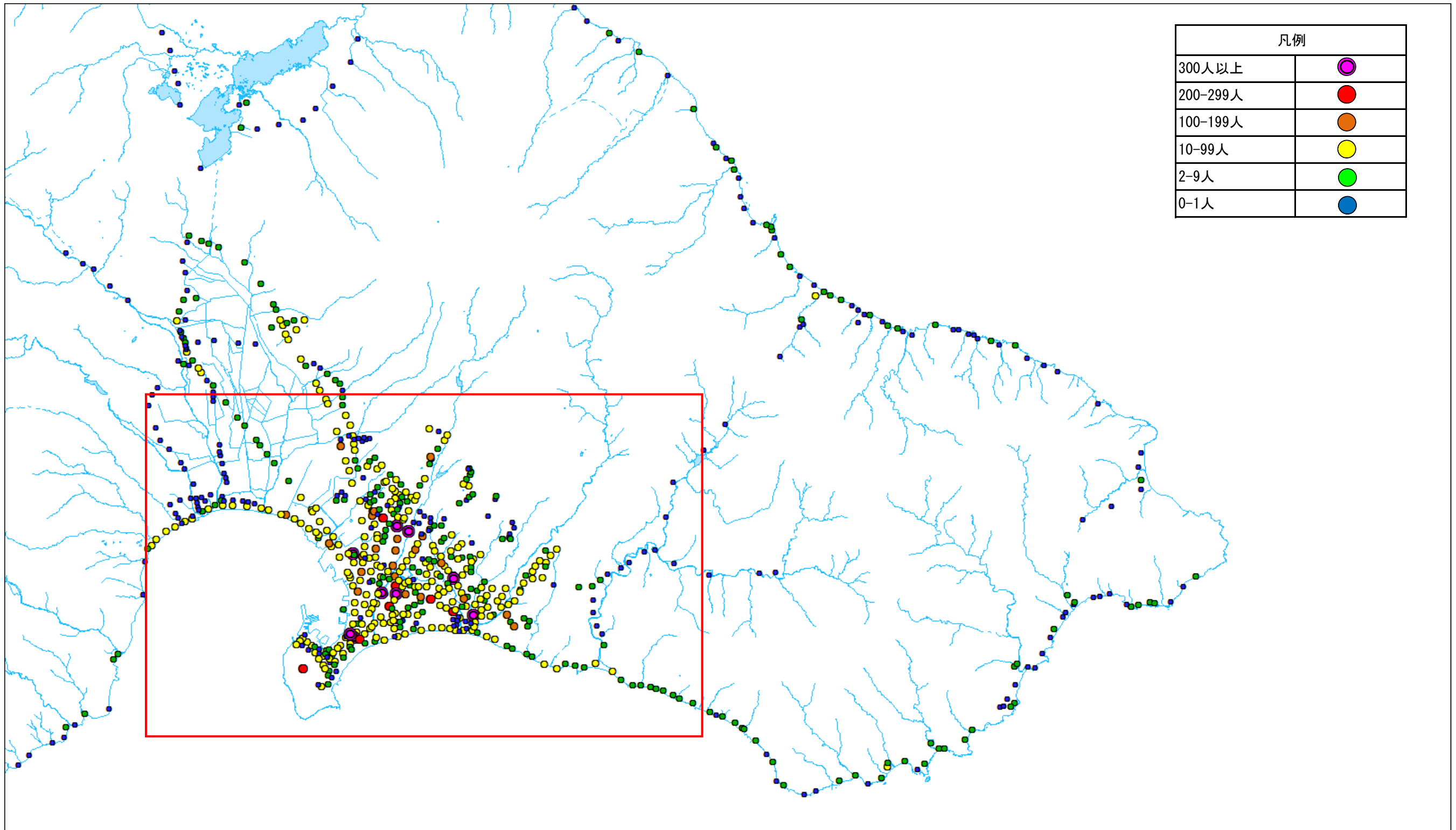
順位	バス停名称	利用者 (人/日)
1	五稜郭	2,365
2	棒二森屋前	1,157
3	函館駅前	1,032
4	亀田支所前	1,020
5	中央小学校前	767
6	湯倉神社前	753
7	市立函館病院	374
8	花園町	337
9	テーオーパボッツ前	311
10	千代台	259

資料：函館バス株式会社



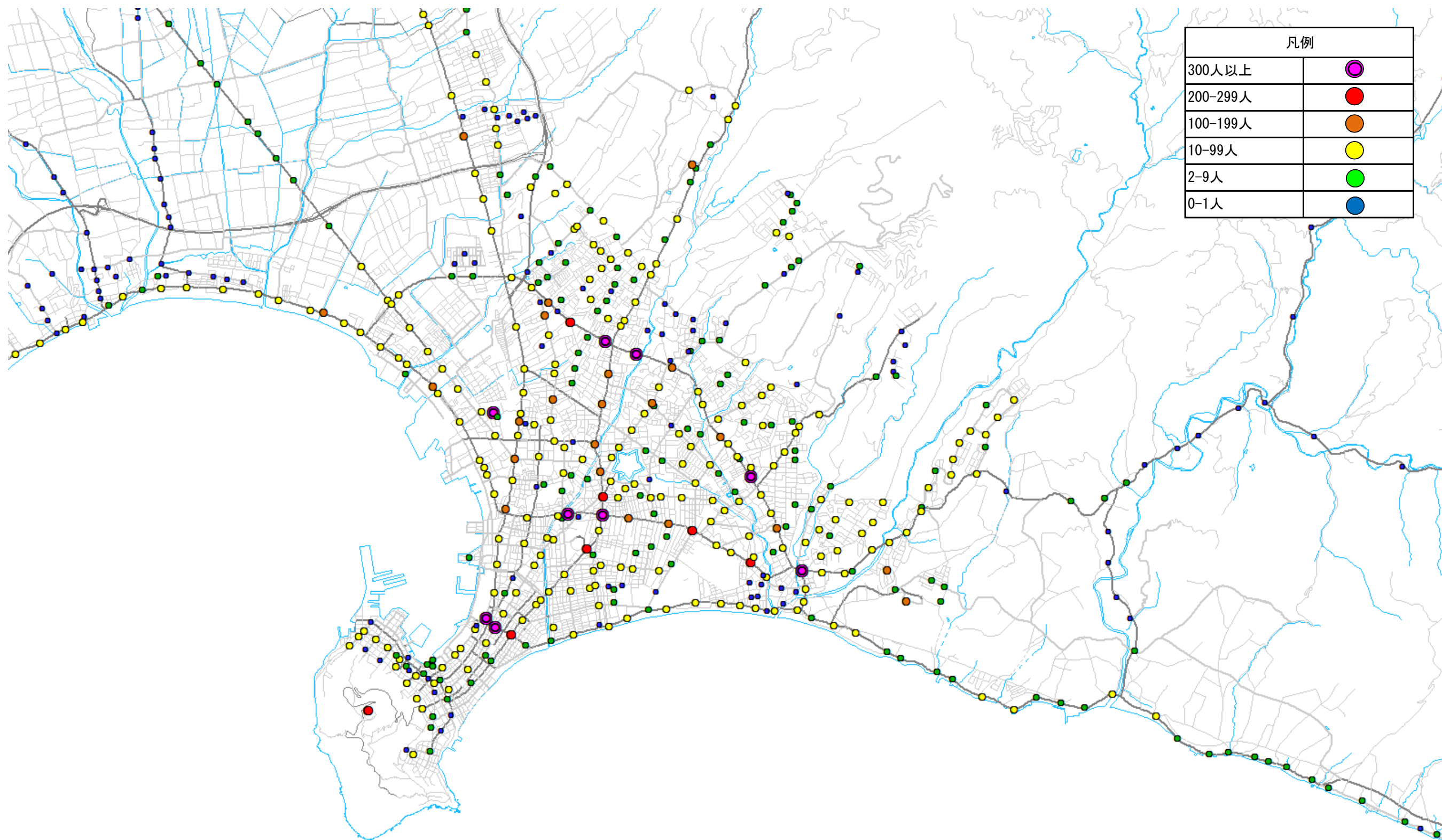
b バス停留所毎の利用者数 (H24年10月の日平均)

■ 函館駅前、五稜郭地区、美原地区、湯川地区の各バス停留所周辺では、1日あたり300人を超えている。



※五稜郭地区など複数のバス停が配置されている場合は1つのバス停として合算

資料：函館バス株式会社



※五稜郭地区など複数のバス停が配置されている場合は1つのバス停として合算  
資料：函館バス株式会社

(I) バス専用・優先レーン設置状況

■ 朝の通勤時に混雑する函館駅に向かう国道 278 号・5 号・227 号に、バス専用・優先レーンが設置されている。

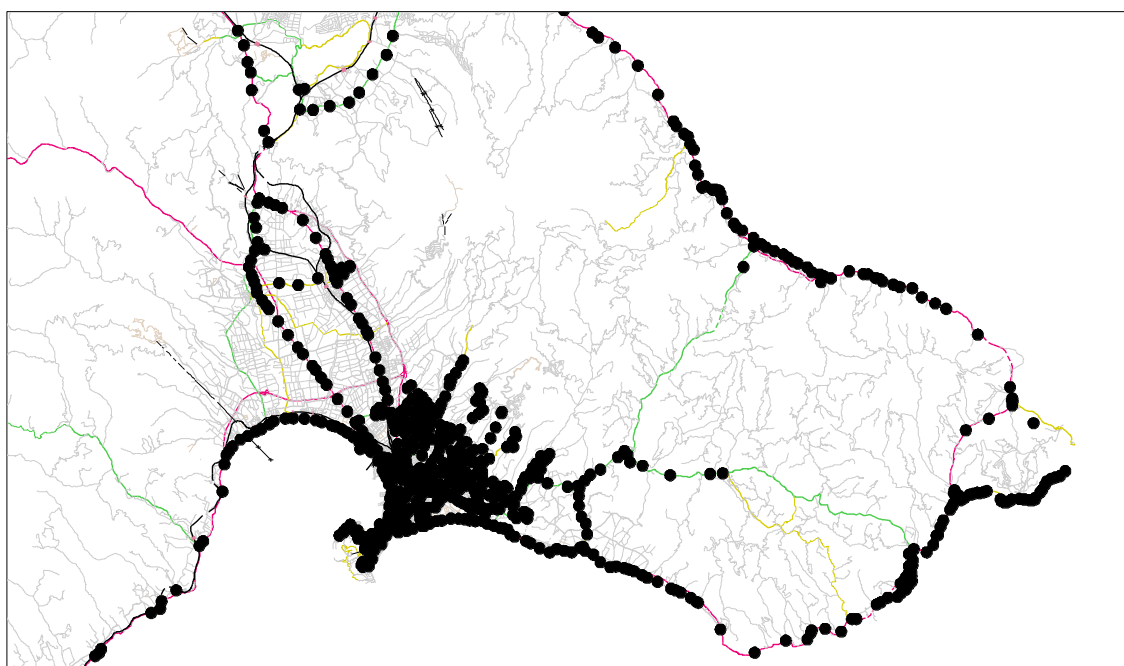
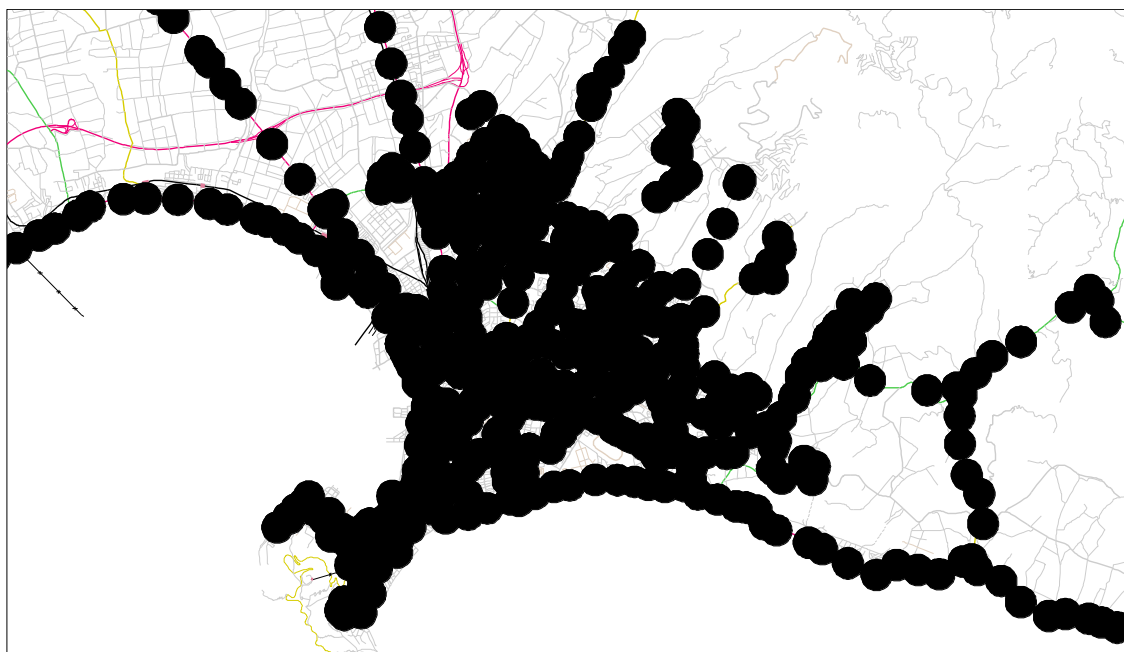
		路線		区間距離 (m)	規制時間	指定車	実施年月日		
函館市・北斗市	専用	国道278号	函館市若松町16番7号～ 函館市大森町34番11号	両方向	1車線	1,100	7:30～9:00 17:00～18:30 (日、祝日除く)	路線バス・通学通園バス・二輪	52.11.1
	優先	国道5号	函館市亀田本町55番8号～ 函館市万代町8番10号	函館駅方向	1車線	1,500	7:30～9:00 (日、祝日除く)	バス・二輪・軽車両	56.12.9
		国道227号	北斗市七重浜2丁目～ 函館市吉川町5番11号	函館駅方向	1車線	3,700	7:30～9:00 (日、祝日除く)	バス・二輪・軽車両	51.9.1
					3路線	6,300			



資料：数字でみる北海道の輸送

(オ) バス停カバー圏図 (300m カバー※)

■ 近年宅地開発が進んだ桔梗地域では、一部カバーされていない地域もあるが、その他の地域においては、概ねカバーされている。



※「一般的な人が抵抗感なく歩ける範囲は概ね 300m」(「バスサービスハンドブック」(土木学会)とされていることから、ここでは、バス圏域をバス停の半径 300m 圏内 と設定した。これは概ね「バス停まで徒歩 5 分圏」に該当する圏域である。

資料：デジタル地図データ

(カ) 市が運行または補助しているバス等の状況

a 地域福祉バス

■ 東部地区では、地域住民の福祉活動や社会活動への参加促進等のためのバスが無料で運行され、年間1,000人を超える利用者数となっている。

名称	戸井 地域福祉バス	恵山 地域福祉バス	楳法華 地域福祉バス	南茅部 地域福祉バス
事業目的	地域住民の福祉活動や社会活動への参加促進等を図り、福祉向上と地域振興に資する			
運行形態	委託 (委託先:函館バス株式会社)	委託 (委託先:函館バス株式会社)	委託 (委託先:函館バス株式会社)	委託 (委託先:函館バス株式会社)
バス所有者	函館バス株式会社	市(1台)	市(1台)	市(2台)
運行回数 (H25年度)	74回	51回	49回	【1台目】69回 【2台目】95回
乗車人数 (H25年度)	1,666人 (1回当たり 23人)	1,882人 (1回当たり 37人)	1,096人 (1回当たり 22人)	【1台目】 1,426人 (1回当たり 21人) 【2台目】 1,794人 (1回当たり 19人)

資料：函館市

## b 病院バス

■ 恵山・南茅部地区では、恵山および南茅部病院への送迎を目的に、無料でバスが運行され、年間1,000人を超える利用者数となっている。

名称	恵山病院バス	南茅部病院バス
事業目的	恵山病院への送迎	南茅部病院への送迎
運行形態	委託 (委託先:函館バス株式会社)	委託 (委託先:函館バス株式会社)
バス所有者	市(1台)	市(地域福祉バスを利用)
運行日数 (H25年度)	245日 (毎週月曜日から金曜日まで運行)	【1台目】44日 【2台目】7日 (毎週火曜日運行)
乗車人数 (H25年度)	8,238人 (1日当たり34人)	【1台目】 1,049人 (1日当たり24人) 【2台目】 163人 (1日当たり23人)

資料：函館市

## c 温泉送迎バス

■ 戸井・恵山地区では、東部地区にある温泉施設への送迎を目的に、地域福祉バスを利用して無料でバスが運行され、年間800人を超える利用者数となっている。

名称	戸井温泉送迎バス	恵山温泉送迎バス
事業目的	東部地区にある温泉や保養センターへの送迎	
運行形態	委託 (委託先:函館バス株式会社)	委託 (委託先:函館バス株式会社)
バス所有者	函館バス株式会社	市(地域福祉バスを使用)
運行日数 (H25年度)	12日	86日
乗車人数 (H25年度)	753人 (1日当たり63人)	6,258人 (1日当たり73人)

資料：函館市



d 学校等送迎バス

- 東部地区の園児・児童・生徒の通園・通学を目的に、学校等送迎バスが無料で運行されている。
- 旧市域では、遠距離通学の児童用の通学バスが、湯川地区では無料で運行されているほか、陣川あさひ地区においては、市が補助を行い、町会が運行している。

名称	戸井スクールバス	恵山スクールバス	南茅部地域通学バス
事業目的	戸井幼稚園，戸井西小学校，日新小学校の通園・通学	えさん小学校，恵山中学校の通学	磨光小学校，尾札部中学校の通学
運行形態	委託 (委託先： 函館バス株式会社)	委託 (委託先： 函館バス株式会社)	委託 (委託先： 函館バス株式会社)
バス所有者	市(2台)	市(3台)	函館バス株式会社
運行日数 (H25年度)	【1台目】218日 【2台目】221日	【1台目】223日 【2台目】212日 【3台目】234日	216日
乗車人数 (H25年度)	【1台目】12,471人 (1日当たり57人) 【2台目】11,243人 (1日当たり51人)	【1台目】22,528人 (1日当たり101人) 【2台目】12,517人 (1日当たり59人) 【3台目】16,591人/年 (1日当たり71人)	14,848人 (1日当たり69人)

名称	つつじ保育園送迎バス	湯川小学校 通学用バス	陣川あさひ町会 通学バス
事業目的	つつじ保育園の通園	湯川小学校の通学	神山小学校，赤川中学校の通学
事業目的	委託 (委託先：函館タクシー株式会社)	委託 (委託先：函館市シルバー人材センター)	補助事業 (補助事業者：陣川あさひ町会通学バスJバス部)
バス所有者	株式会社 トヨタレンタリース函館	市(1台)	函館バス株式会社
運行日数 (H25年度)	292日	207日 ※平成23年度実績	208日 ※平成23年度実績
乗車人数 (H25年度)	11,470人 (1日当たり39人)	約14,900人 (1日当たり72人) ※平成23年度実績	約60,320人 (1日当たり290人) ※平成23年度実績

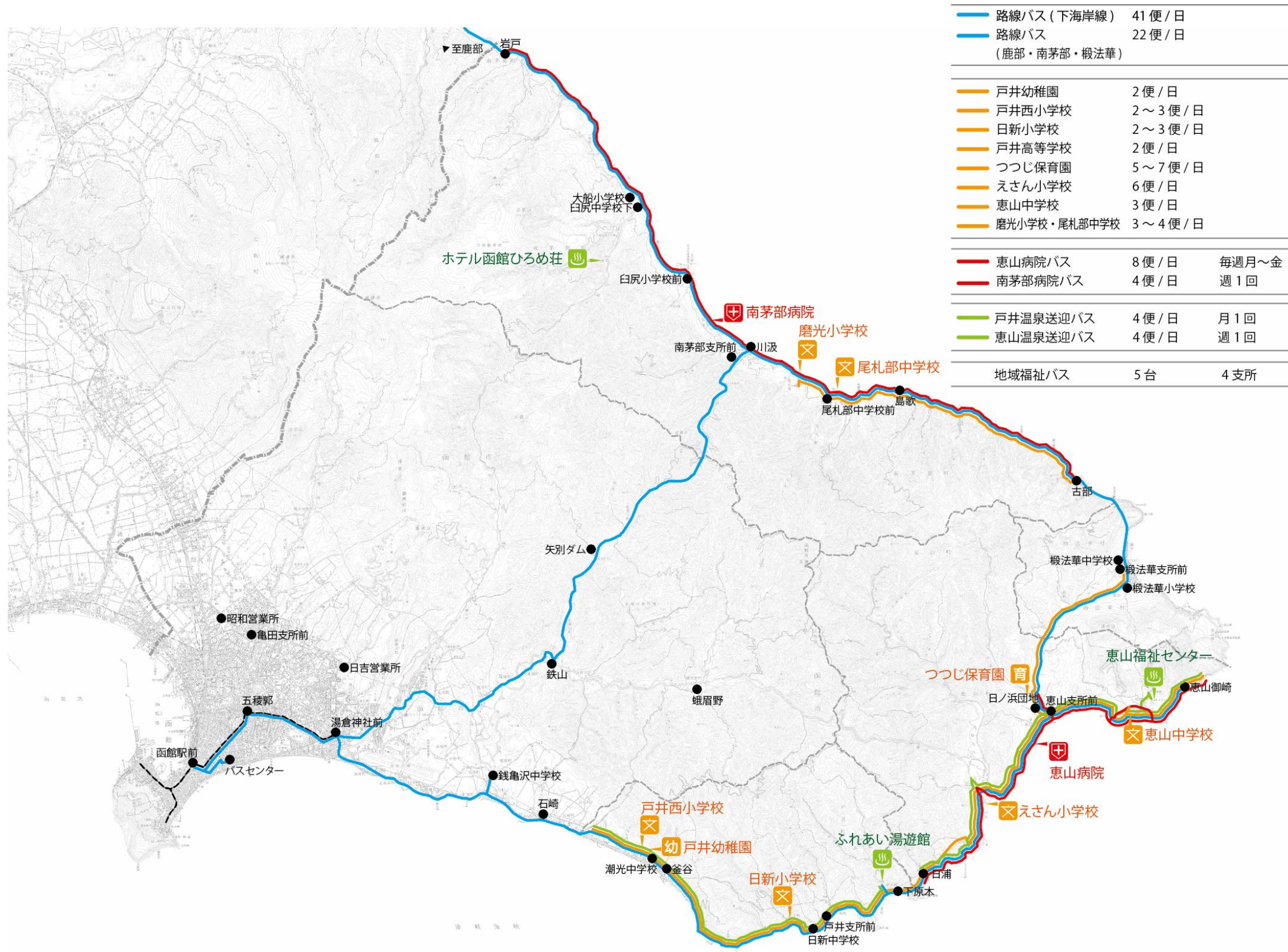
資料：函館市



(キ) 東部地区の公共交通等の状況

a バス網

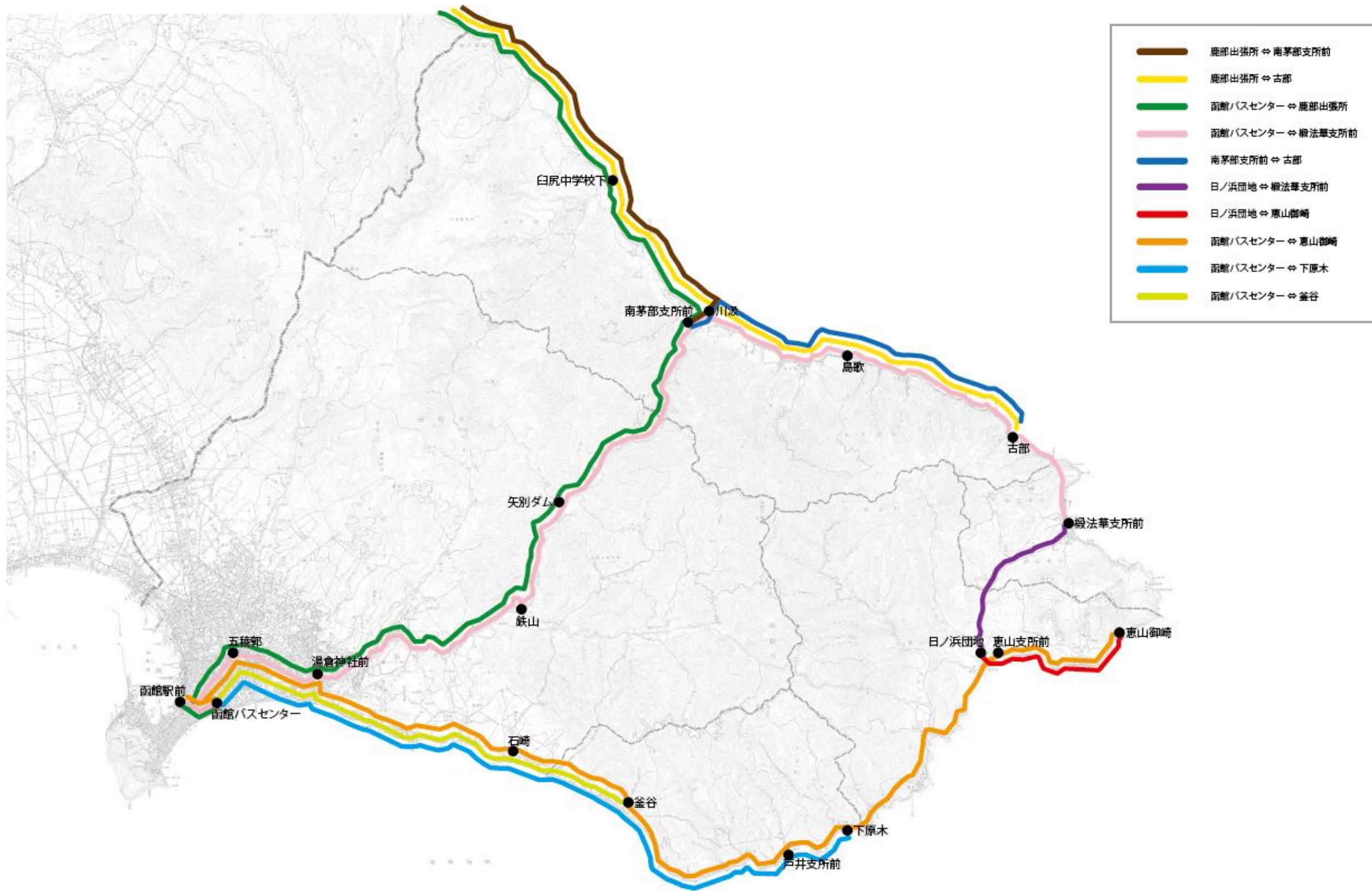
■ 市が運行しているバスは、幹線道路が一本道であり、路線バスの運行経路とほぼ同一の経路となっている。



資料：函館市

b 路線バス網

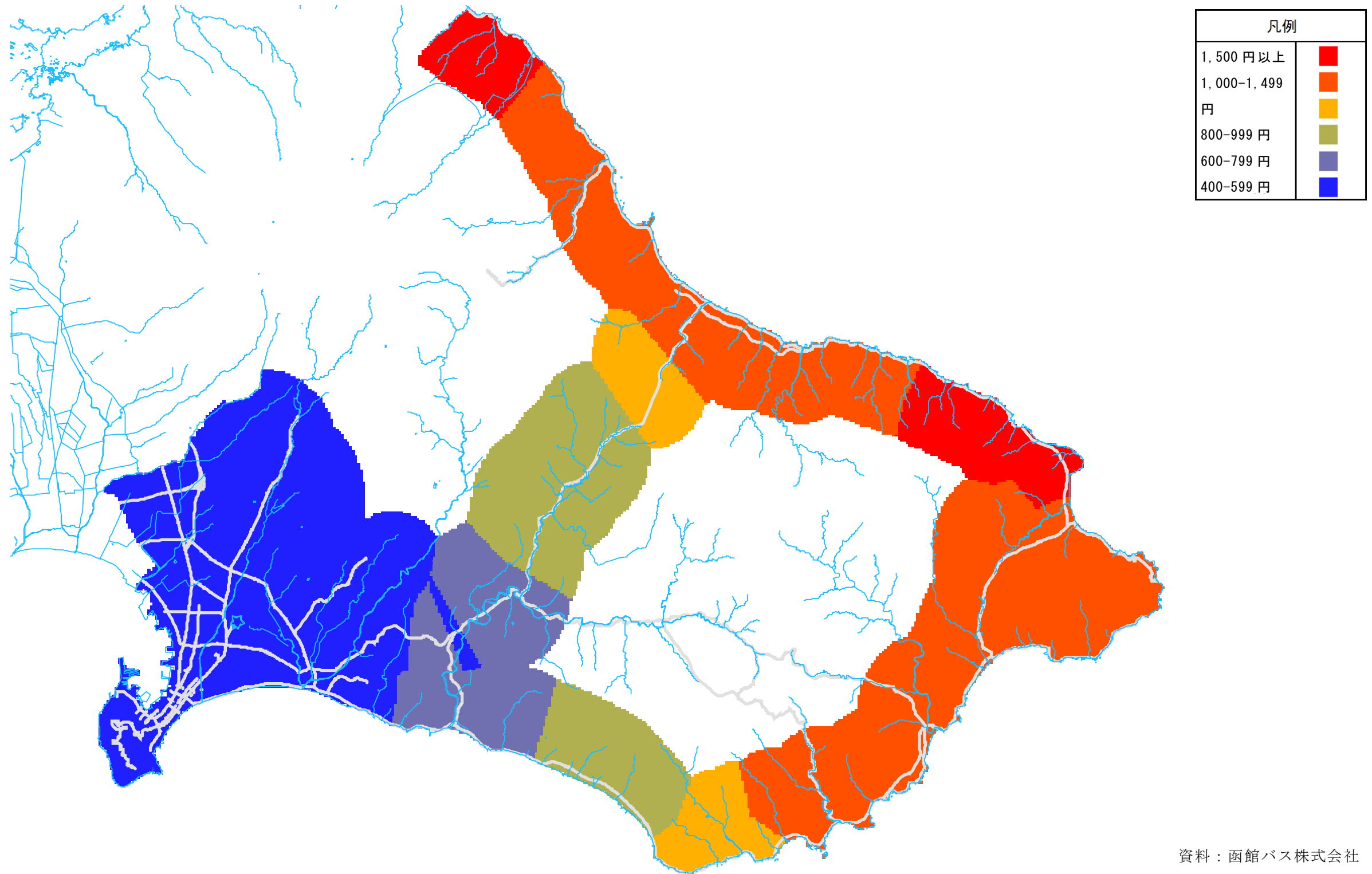
■ 東部地区を運行する路線バスはすべて補助対象路線となっており、国・道・市が補助を行っている。



資料：函館市

c 路線バス料金

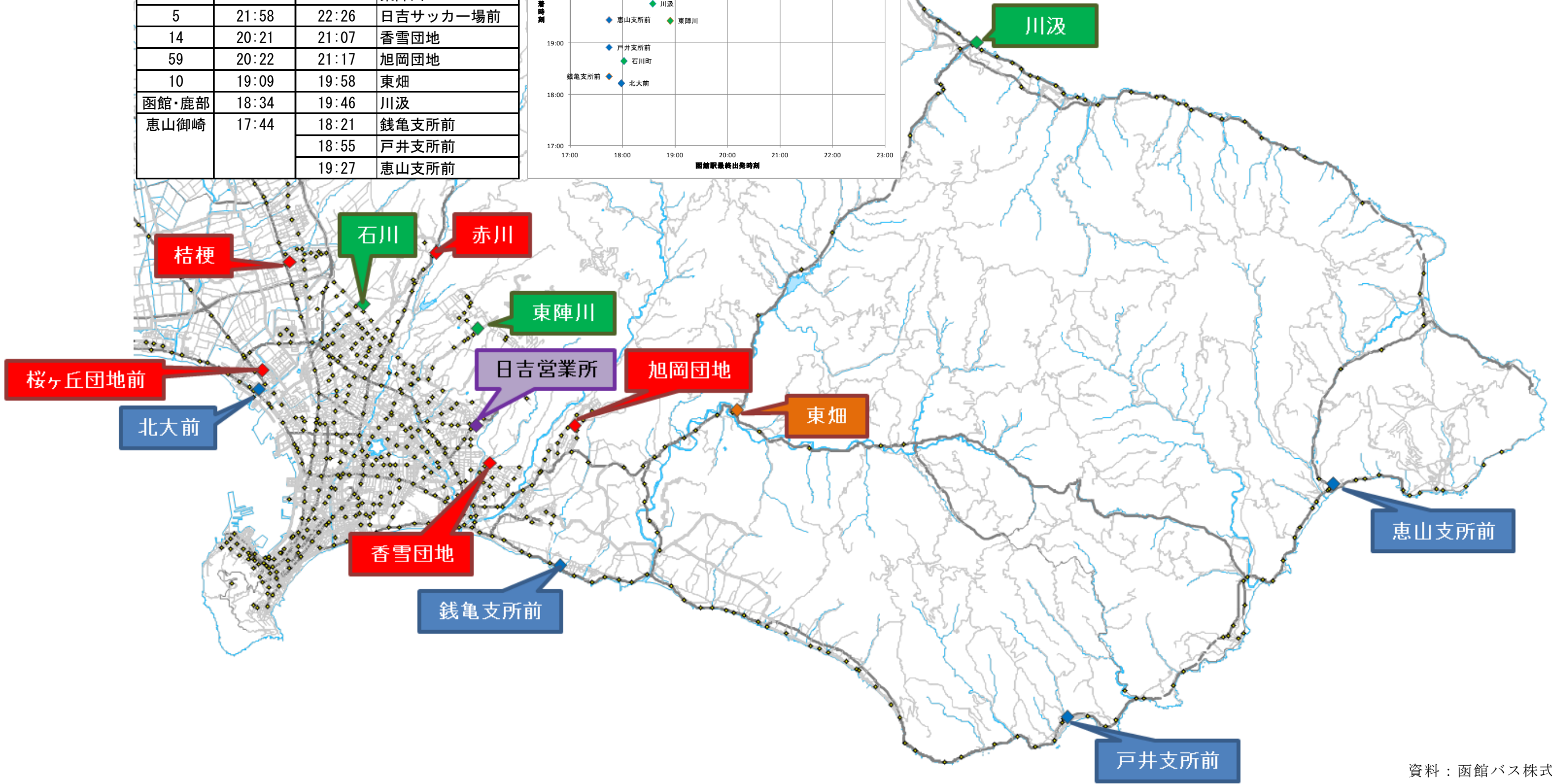
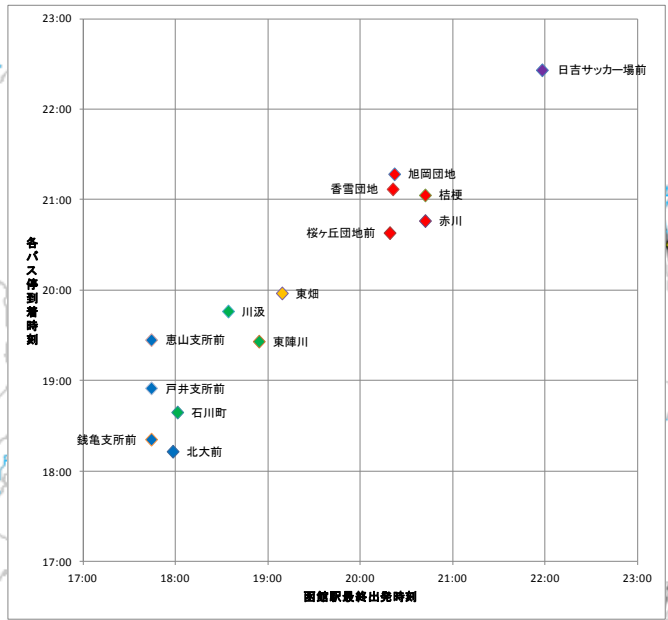
■ 東部地区の多くの箇所において、函館駅前からのバス料金が1,000円を超えている。



d 路線バス終発時刻

■ 函館駅前から東部地区の戸井・恵山地域へ向かうバス終発時刻は18時以前となっており、市街地に比べ早い時間に運行を終えている。

系統	函館駅 発時刻	市縁辺部 到着時刻	縁辺部 バス停名
101	17:58	18:13	北大前
2	20:19	20:38	桜ヶ丘団地前
103	20:42	21:03	桔梗
105	20:06	20:46	赤川
130	18:01	18:39	石川町
6-2	18:54	19:26	東陣川
5	21:58	22:26	日吉サッカー場前
14	20:21	21:07	香雪団地
59	20:22	21:17	旭岡団地
10	19:09	19:58	東畑
函館・鹿部	18:34	19:46	川汲
恵山御崎	17:44	18:21	銭亀支所前
		18:55	戸井支所前
		19:27	恵山支所前



資料：函館バス株式会社